

令和3年11月12日

病院長・診療所長各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
病院診療所担当理事 三松 興道

令和3年度関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会
全体協議会の収録動画及び資料について（第4報）

標記の件につきまして神奈川県医師会より通知がまいりましたのでお知らせいたします。

神奈川県医師会
会長 菊岡正和
(公印省略)

令和3年度関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会
全体協議会の収録動画及び資料について（第4報）

時下 益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より本会事業にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、本年度当番の長野県医師会会長より別添の通り通知が参りましたので、ご案内申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から関係者（別添次第に記載された発表者等）のみWeb形式で出席いただき、収録を行いました。

本件は、9月18日に収録しました標記会議の動画及び資料が長野県医師会ホームページに掲載されたことをお知らせするものになります。

つきましては、貴会におかれましても本件をご了知いただくとともに、貴会管下関係機関への周知について、ご高配の程、よろしくお願い申し上げます。

記

【収録動画】※長野県医師会ホームページトップ画面「動画一覧」（右側中段）

URL：<http://www.nagano.med.or.jp/general/movie/>

(※「新着情報」からもご覧いただけます)

【資料】※長野県医師会ホームページトップ画面「医師・医療機関の皆様へ」
タブ→「資料・様式ダウンロード」タブ→「各種資料・マニュアル」タブ

URL：<http://www.nagano.med.or.jp/doctor/dl/manual/>

(※「新着情報」からもご覧いただけます)

【収録動画・資料掲載期間】

令和3年10月7日（木）から令和3年12月28日（火）まで

以上

令和3年度

関東甲信越医師会連合会
医師会共同利用施設分科会

開催日 令和3年9月18日(土)

場所 長野県医師会館 (Web会議主会場)

当番県 長野県医師会

令和3年度関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会次第

日時 令和3年9月18日(土)

場所 長野県医師会館(Web会議主会場:収録)

【都県医師会代表者会議】

書面開催

【全体協議会】

(14:30~17:30)

司会 長野県医師会常務理事 鈴木章彦

- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 1. 開 会 | | |
| 2. 挨拶 | 長野県医師会 会長 | 竹重王仁 |
| 3. 祝 辞 | 日本医師会 会長 | 中川俊男様 |
| | 長野県 知事 | 阿部守一様 |

4. 都県医師会代表者会議報告 長野県医師会常務理事 鈴木章彦

5. シンポジウム (14:40~16:35)
座長 長野県医師会常務理事 森 浩二

「医師会立看護師等養成所の現状と課題」

①上伊那医師会附属准看護学院 (14:45~15:00) (15分)
学院長 前澤 毅様

②長野看護専門学校 (15:00~15:15) (15分)
副校長 堀内 弘子様

③岡谷市医師会附属准看護学院 (15:15~15:30) (15分)
岡谷市医師会 会長 今井 智彦様

④小諸看護専門学校 (15:30~15:45) (15分)
副校長 山田 さか江様

ディスカッション (15:45~16:35) (50分)

【発言】

①藤沢市医師会 湘南看護専門学校 赤見 恵司様

②群馬県医師会 長坂 資夫様

休 憩 (16:35~16:40)

6. 特別講演 (16:40~17:10)
座長 長野県医師会 会長 竹重王仁

演 題 「長野県における健康づくり事業団の役割」
講 師 長野県健康づくり事業団専務理事 角田 道夫様

総 括 日本医師会 常任理事 松本 吉郎様

7. 次年度当番県医師会挨拶 新潟県医師会 会長 堂前 洋一郎様

8. 閉 会 (17:30)

【シンポジウム】

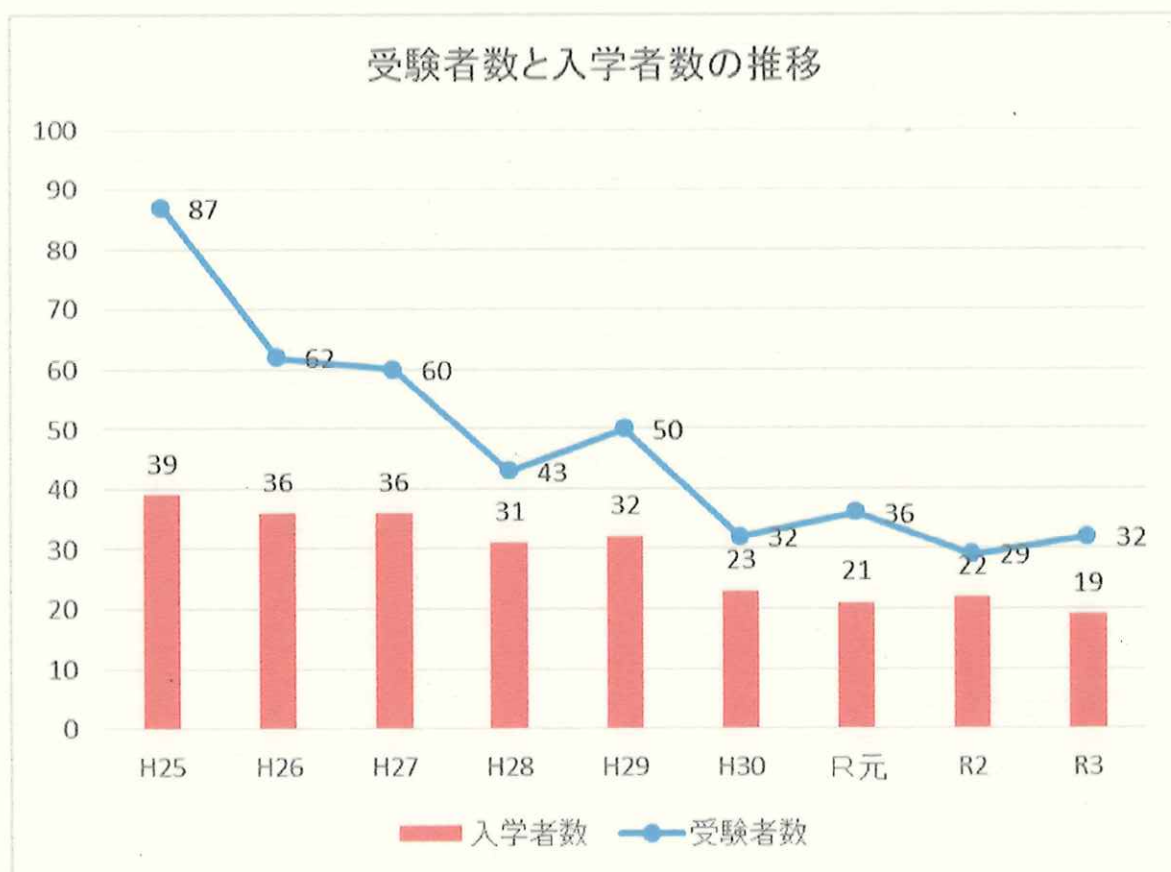
「医師会立看護師等養成所の現状と課題」

上伊那医師会附属准看護学院 の現状と課題

2021年9月18日

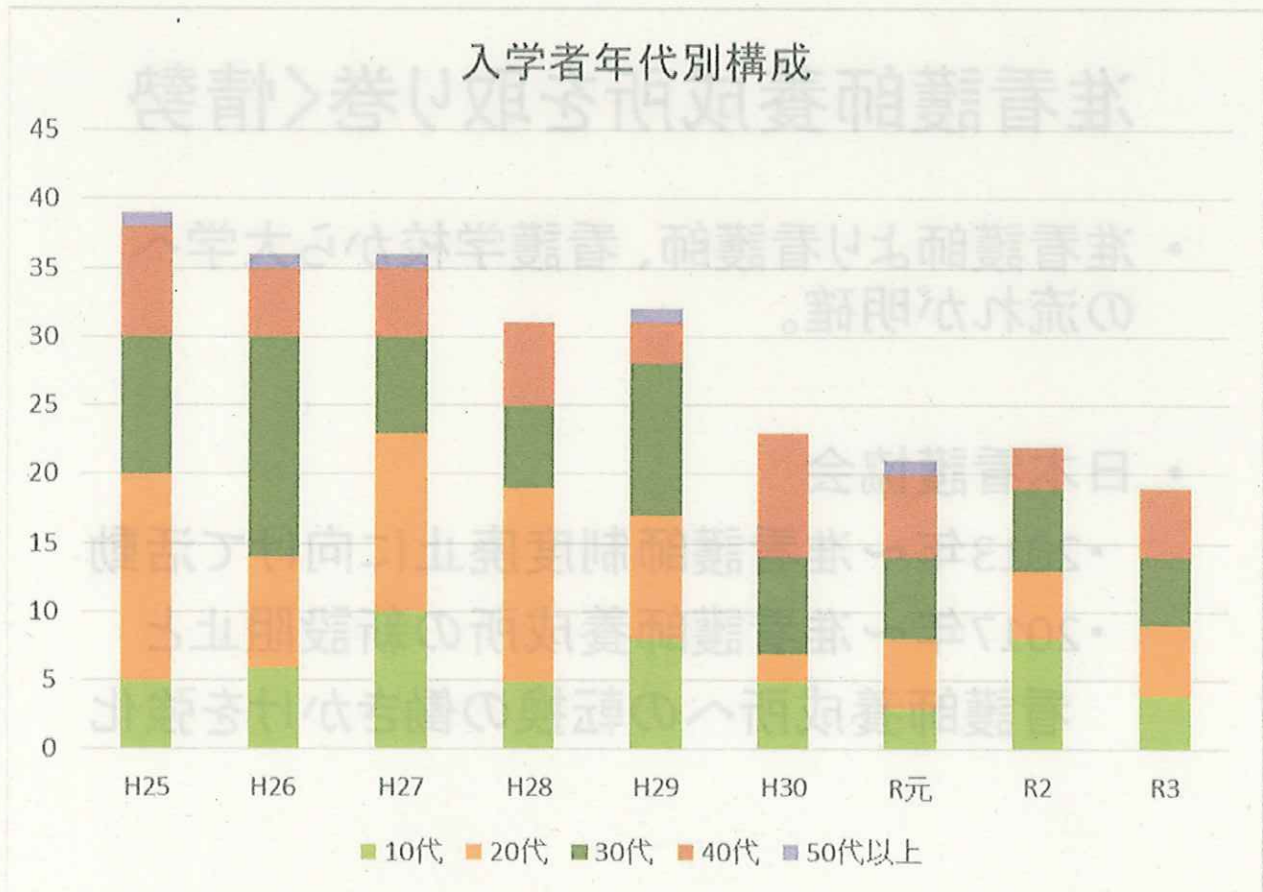
上伊那医師会附属准看護学院

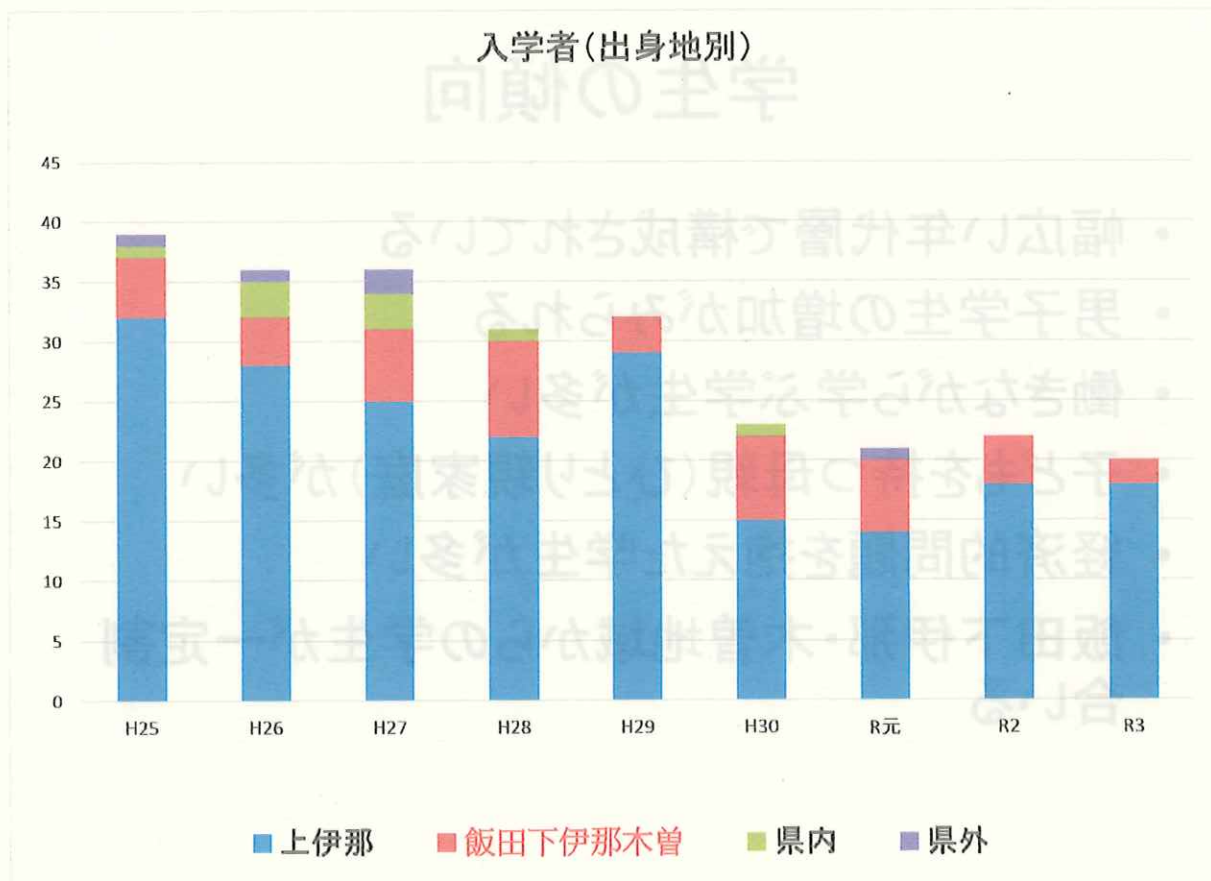
学院長 前澤 毅



学生の傾向

- 幅広い年代層で構成されている
- 男子学生の増加がみられる
- 働きながら学ぶ学生が多い
- 子どもを持つ母親(ひとり親家庭)が多い
- 経済的問題を抱えた学生が多い
- 飯田下伊那・木曾地域からの学生が一定割合いる





准看護師養成所を取り巻く情勢

- 准看護師より看護師、看護学校から大学への流れが明確。
- 日本看護協会
 - 2013年～准看護師制度廃止に向けて活動
 - 2017年～准看護師養成所の新設阻止と看護師養成所への転換の働きかけを強化

看護師等養成所数の推移



令和2年 看護関係統計資料集 日本看護協会

看護職員の状況

- 近年、全国的に看護職員数は増加している。
- 上伊那地域は県内で木曾に次いで2番目の「医療従事者(医師・看護師)過疎」

全国看護師・准看護師数の推移



上伊那地域 今後の人口予測から

- 30年後の2045年の推計において、20歳代で38.2%、30歳代でも43.1%と大幅な減少見込み。看護師・准看護師を目指す年代の全体数が減り、人材確保は難しさを増す。
- 女性の都市部集中も課題を一層深刻なものにしている。



国立社会保障・人口問題研究所 将来推計 2015年国勢調査結果に基づいて作成

地域の期待

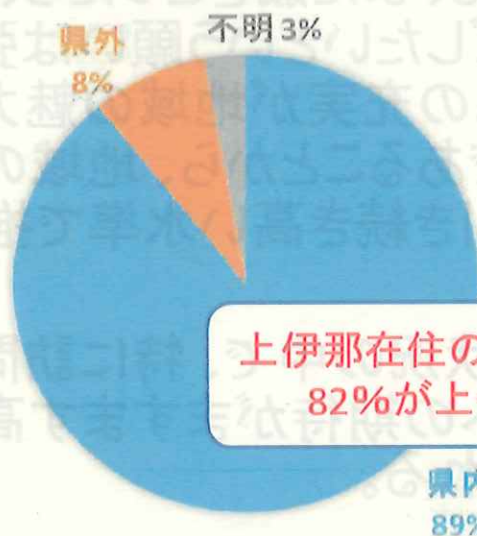
- 歳をとっても、また歳をとったら、住み慣れた地域で過ごしたいという願いは強く、医療・介護サービスの充実が地域の魅力を高める重要な要素であることから、地域の看護人材への要求は引き続き高い水準で推移すると見込まれる。
- このような状況の中で、特に訪問診療などの在宅医療への期待がますます高まっていくものと考えられる。

遠隔医療 モバイルクリニック事業



准看護師は県内就職率が約90%

准看護師養成所県内就職率



上伊那在住の本校卒業生のうち、
82%が上伊那地域に就職

学生の声

- 准看護学院の存在意義や必要性を肯定的にとらえる声が多く出される。

学生の声 「なぜ看護師養成所ではなく、准看護師養成所を選んだのか」

- 働きながら学ぶことができる。
- 仕事と家庭の両立ができる。
- 自分は本当に看護ができるのかを見極めたいと思った。看護職の入り口として入りやすさを感じたため。
- 40代での挑戦は、看護師養成所ではハードルが高く、准看護師養成所だからこそできた。准看は人生の途中で看護を目指す人に対して道が開かれていると感じたため。

学生の声 「准看護師養成所だったから こそよかったことは何か」

- 幅広い年齢層の方や様々な社会経験を積んだ人が多く、自分の知らない世界や思いも知ることができて人間的な成長ができたこと。
- 働きながら学ぶ、臨床で体験しながら学校で学ぶというスタイルは、大変身につく。
- 同じ境遇の人達が大勢いて心強く学ぶことができる。
- 学費が安く、仕事や家庭との両立ができ、時間的にも余裕をもって学ぶことができる。

学生の声 「准看護師養成所は これからも必要と思うか」

はい 134/135(99.3%) いいえ 1/135(0.7%)

- 看護師の夢を一度諦めていたり、何かをきっかけに看護師を目指そうとする人にとって、夢を叶える唯一の場であるため必要だと思う。
- 学びたくても時間的・経済的などの理由、社会的背景から4年制大学や全日制の看護学校で学ぶことが難しい人が多いため必要。
- 准看護教育があることにより、将来看護師を目指していても入り口が広く保たれているのだと思う。
- 2025年問題に対応するため、看護の有資格者は必要不可欠であると思う。

看護人材確保のための取り組み

(1) 上伊那医師会就業支援金

(2) 高校へ出張説明会

(3) キャリアフェス(伊那市)



2021年7月3日 長野日報

今後の看護人材養成の考え方

- 地域に必要な医療人材として、引き続き准看護師を養成していく。
- 質の高い人材を輩出することが地域医療への貢献につながる。
- 上伊那地域だけでなく、飯田下伊那・木曾地域をカバーする。
- 新卒者ばかりでなく、幅広い年代、さまざまな家庭環境で学ぶ意欲を持つ人の受け皿となる。(セカンドチャレンジを応援)
- 准看卒業後、看護師養成所などに進学しても、かなりの割合で地元就職することから、その際の支援を引き続き実施していく。

これからの上伊那准看護学院

(1)教育の基本姿勢

- 幅広い年齢層と多様な背景を持つ学生たちへ、個性に応じた指導を行い、地域に貢献できる質の高い看護人材を養成する。

(2)学習環境

- 学生の学ぶ環境を充実させ、時代にあった看護教育ができる施設の整備に努めたい。

本校の教育目的

令和3年度関東甲信越医師会連合医師会共同利用施設分科会

長野看護専門学校の現状と課題

2021.9.18

副学校長 堀内 弘子

本校
の
教育
目的

看護を実践するために必要な、専門知識・専門技術を主体的に学び、豊かな人間性や変化する社会のニーズに対応できる基礎能力を身につけ、地域の人々の保健・医療・福祉に貢献できる「**看護実践者**」を育成する。



本校の沿革

1952(S27)年	准看護師の養成所として長野市医師会准看護学院開校	卒業生数(～令和3年3月) <u>3,034名</u>
1975(S50)年	准看護師養成所の進学課程開校	卒業生数(～令和3年3月) <u>1,546名</u>
1988(S63)年	准看護師から看護師への一貫した教育を目的とし、長野市医師会附属看護専門学校 准看護学科・看護学科と校名変更	
2008(H20)年	専修学校へ移行	
2009(H21)年	3年課程を増設 校名を長野看護専門学校に変更	卒業生数(～令和3年3月) <u>346名</u>

長野看護専門学校の概要

1. 3学科(看護師資格取得2コース)を併設

★ 2コース併設は全国で15校

A ①第1看護学科(3年課程)定員 40名

B ②第2看護学科(2年課程昼間定時制)定員 40名

③准看護学科(2年課程)定員 40名

Bコース<准看護学科 → 第2看護学科コース>

2. 社会人にも男子学生にもシングルマザーにも優しい学校

⇒ 多様な背景・多様な人生経験をもつ、学生たちが、にぎやかにわきあいあいと学んでいます。

* **社会人** (H30全国20歳以上の入学者 18.3%)

1看 22.2% 准看 70.5%

* **男子学生** (H30全国11.5%)

1看 26.8% 2看 16.2% 准看 23.1%

* **シングルマザー** 3学科で約12% (過去3年間)

3. 学生の養成状況

1) 学生の充足率 3学科平均 89.3% 4/1現在

2) 卒業率 3学科平均 91%

3) 看護師国試(新卒)合格率(全国95.4%)R2年度

第1看護学科100%、第2看護学科100%

准看護師試験合格率 100%(進学率 約80%)

4. 地域への貢献度 就職先 R2年度

長野市内: 第1看護学科66.7%、第2看護学科71.4%

県内: 第1看護学科 90%、第2看護学科 94%

5. 各種奨学金・給付制度が充実

- ・高等教育修学支援新制度 認定校
- ・学校独自の奨励金制度
- ・専門実践教育訓練給付金(第2 & 准看護学科)
- ・高等職業訓練促進給付金
- ・高等学校等就学支援金・学び直し支援金
(准看護学科) etc

本校の現状と課題

1. 入学生の確保

1) 18歳人口の減少と大学指向

①18歳人口 平成21年 121万人 ⇒ 令和4年 112万人

②令和2年度進学率(大学+短大+高専+専門学校) 82.8%

58.1% 23.8%

③看護大学数 平成21年 181校 ⇒ 令和3年 290大学

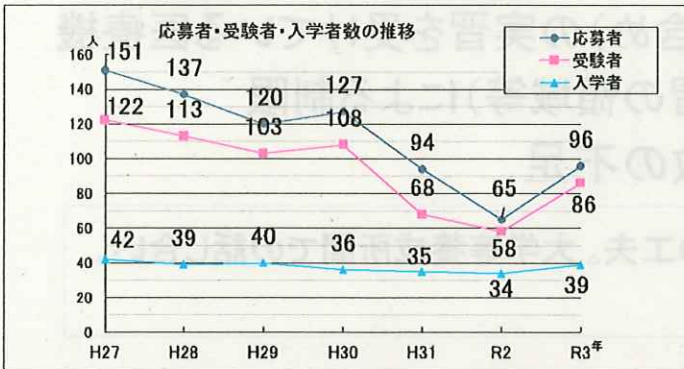
※令和2年度 医師会立 助産師・看護師・准看護師学校養成所 調査
<入試状況> 3年課程: 応募者年々減少。平均倍率は2・1倍

2年課程: 定員、応募者ともに減少が続いている。平均倍率は0・9倍

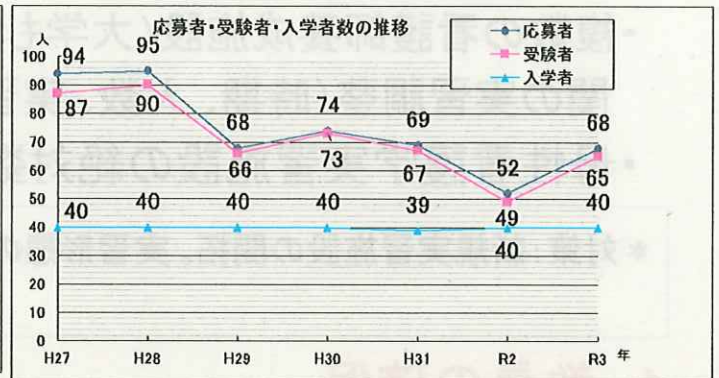
准看課程: 応募者、入学者の減少(定員の76%) 平均倍率は1・1倍

2) 当校の状況

第1看護学科一般入試の推移



准看護学科一般入試の推移



※ 第2看護学科 入学者数の推移

H27:36人 H28:40人 H29:40人 H30:37人 H31:36人 R2:33人 R3:26人

* 対策: 当校のアピールポイントを効果的に発信(ホームページ・進学ガイダンス、学校説明会)
 第1看護学科: 入試時期を早め、入試回数を増やした
 准看護学科: 医療機関推薦に加え、高校推薦を再開した

2. 留年及び退学者の微増

<入学者に対する3年後の卒業割合 過去3年間>

期生	第1看護学科			第2看護学科			准看護学科		
	8期生	9期生	10期生	8期生	9期生	10期生	9期生	10期生	11期生
入学者	39	40	36	40	40	37	40	40	39
退学者	8	3	2	1	4	2	2	3	7
留年者	5	6	8	3	3	2	1	0	3
卒業生	26	31	26	36	33	33	37	37	29
卒業率	66.7%	77.5%	72.2%	90%	82.5%	89.2%	92.5%	92.5%	74.4%

※R2年度卒業生: 第1看護学科&第2看護学科10期生、准看護学科11期生

* 対策: 学生の可能性に働きかける丁寧な「個別支援」の継続。
 入学試験での選定。早期からの保護者を交えた面談。保護者会の実施

岡谷市医師会附属准看護学院

今後の展望



岡谷市医師会

1

岡谷市医師会附属准看護学院の歴史

諏訪広域人口（諏訪6市町村2020年 国勢調査資料）



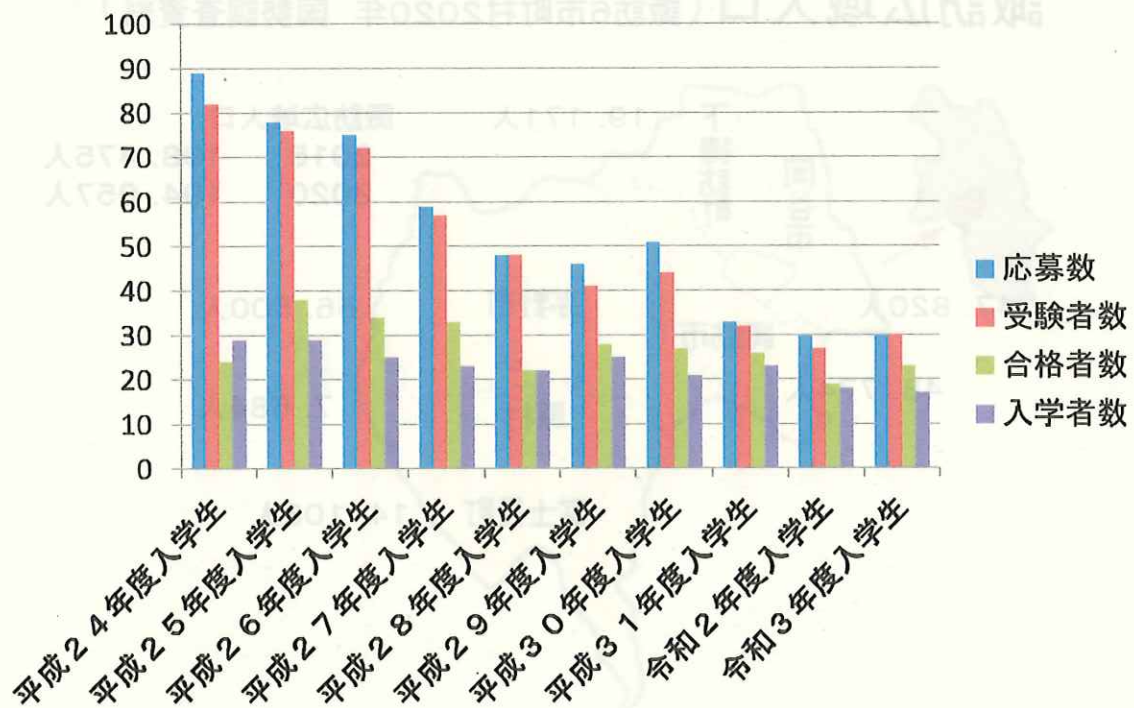
2

諏訪地域の看護学校

	岡谷市医師会 附属准看護学院	岡谷市看護 専門学校	諏訪市医師会 附属准看護学院	諏訪赤十字 看護専門学校	諏訪中央病院 看護専門学校
設立	昭和31年	平成26年	昭和27年	大正12年	平成5年
定員 1学年	30	30	30	40	40
設置 学科	看護学科	看護学科	看護学科	看護学科	看護学科
学生 住所地	塩尻・松本		諏訪地域		
	諏訪地域		塩尻-松本		
	上伊那 地域		上伊那 地区		
	医師会立	岡谷市	医師会立	諏訪 赤十字	組合立

3

入学生応募状況



4

准看護学院の今後

- ・岡谷市医師会附属准看護学院案内より
豊かな人間性を養うとともに、准看護師として必要な看護に関する知識・技術・態度を習得させ、准看護師の役割を自覚し、実践できる職業人を養成することです。

*これからの課題

- ・当初の目的は、医師会員が自分たちの手で准看護師を養成しようというものであった。
- ・ここ数年、長野県においては4年生の看護大学が複数設立された。
准看護学院の受験者も、新卒が少なくなっている。
- ・近年では社会人経験者、施設所属の入学者、主婦などの入学生が多い。
(この数年は入学者の平均年齢は20歳を超えている)
卒業生の全員が准看護師免許を取得しており、さらに看護師資格を取得するため進学を目指すものが増えている。
- ・地域の医療機関、特に開業医への就職はほとんどない。
- ・入学生減少による、医師会の負担増加。

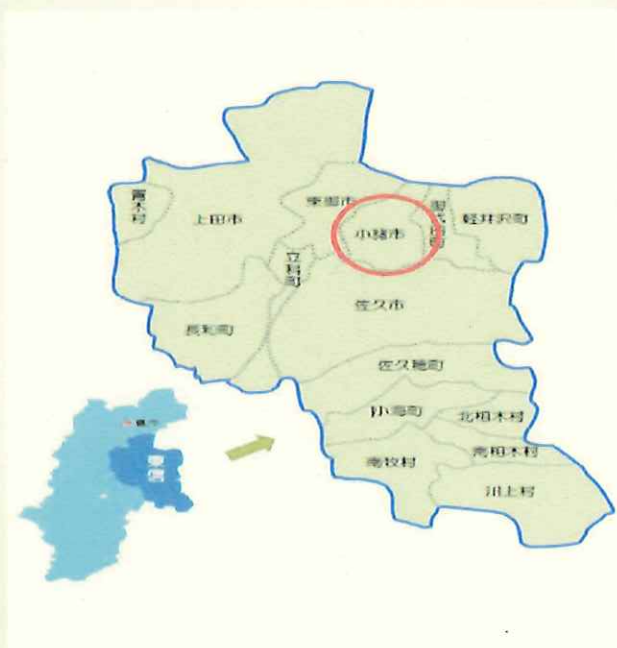
令和3年度 関東甲信越医師会連合会医師会 共同利用施設分科会

小諸看護専門学校

山田 さか江



長野県小諸市



小諸看護専門学校

教育理念

生命の尊厳を基調とした豊かな人間性を養い、現代社会や保健・医療・福祉をめぐる変化や多様化するニーズに対応できる総合的能力と向上心を備えた看護実践者を育成する。

本校では、看護に必要な知識および技術と態度を修得し、豊かな人間性を養い、また看護実践者として社会に貢献できる人材を育成することを教育目とする

小諸看護専門学校 校歌

詞 佐々木 治夫 曲 近藤 玲



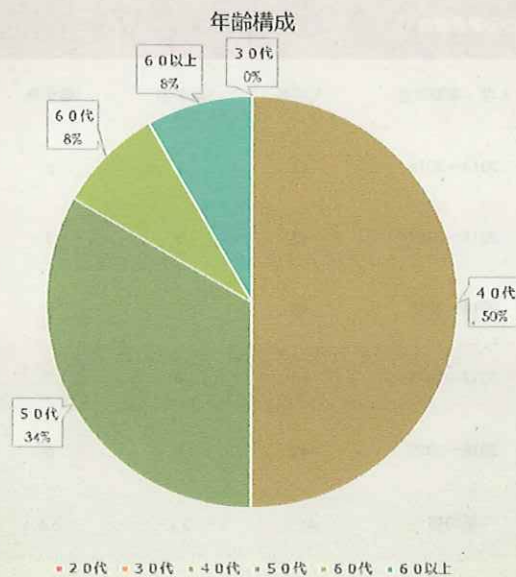
- 一、
春浅間嶺に光満ち 夏懐古園の緑濃し われらこの地に集い来て 人の心を慈しむ
看護の心学ぶなり
- 二、
秋高原に風流れ 冬千曲川の水凍る 学びの道は厳しくも 望みを高く掲げつつ
愛ある心育まん
- 三、
古城を巡る石垣に 栄えし昔を偲びつつ 友と語りしわが思い 若き力をひたむきに
看護の道を究なり
- 四、
三星霜の月日過ぎ わが学舎を旅立たん 学びし技と友情と 熱き心を糧として
看護の道に勤しまん

学校の沿革

- 平成15年 3月 50年間続いた小諸北佐久医師会附属小諸准看護学院を閉校
- 平成15年 4月 小諸看護専門学校として新たに開校
「3年課程」の看護師養成始まる
- 平成17年 5月 校章・校歌制定
- 平成18年 3月 第1期生 41名卒業
- 平成19年 1月 シグマソサエテイ認証
- 平成29年11月 15周年記念 校歌石碑建立
- 令和2年度（令和3年3月） 第16期生卒業 41名
618名卒業生



課題 1 : 看護教員確保について



課題 2 : 実習施設について

- ◆ 母体病院：事例、手術少なくなっている
- ◆ 実習場所の確保：数ヶ所の実習施設
- ◆ 小児実習場所の確保

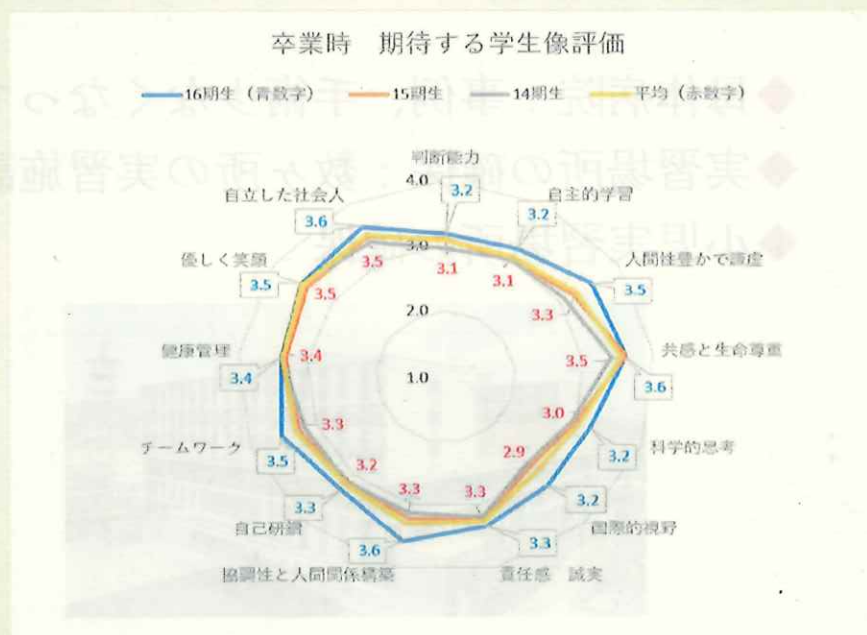


課題3：入学者を40名確保できているが、 退学者・留年者が多い



入学者に対する3年後の卒業割合						
期生	入学～卒業年度	入学者	退学者	留年者	卒業者	卒業割合
12期生	2014～2016	43	2	6	35	81.4%
13期生	2015～2017	42	3	3	36	85.7%
14期生	2016～2018	40	2	7	31	77.5%
15期生	2017～2019	40	4	7	29	72.5%
16期生	2018～2020	40	1	5	34	85.0%
	平均値	41.0	2.4	5.6	33.0	80.5%

学校評価 期待する学生像

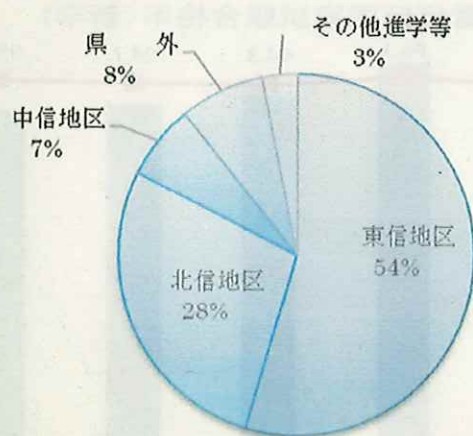


課題4：思考力・判断力・解決能力低下

■ 評価が低い項目

- ・ 科学的思考に基づいた看護を展開できる人
- ・ 国際的な視野をもち、医療情勢や社会情勢の変化にも目を向けられ、看護の展望を考えられる人
- ・ 専門的知識に基づく判断能力、応用能力、問題解決能力がある人
- ・ 自主的な学習の姿勢や研究的態度がもてる人
- ・ 常に自己研鑽し成長し続けることができる人

卒業生地域別進路について

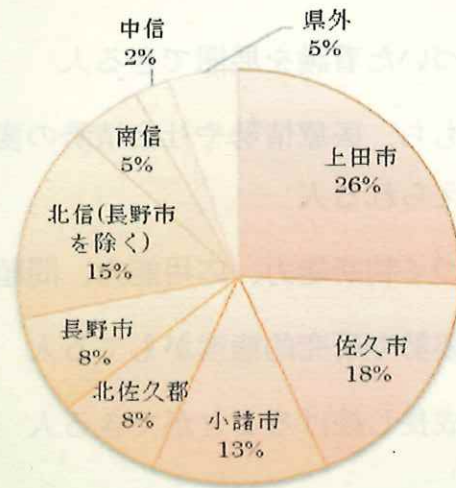


卒業生地域別進路先



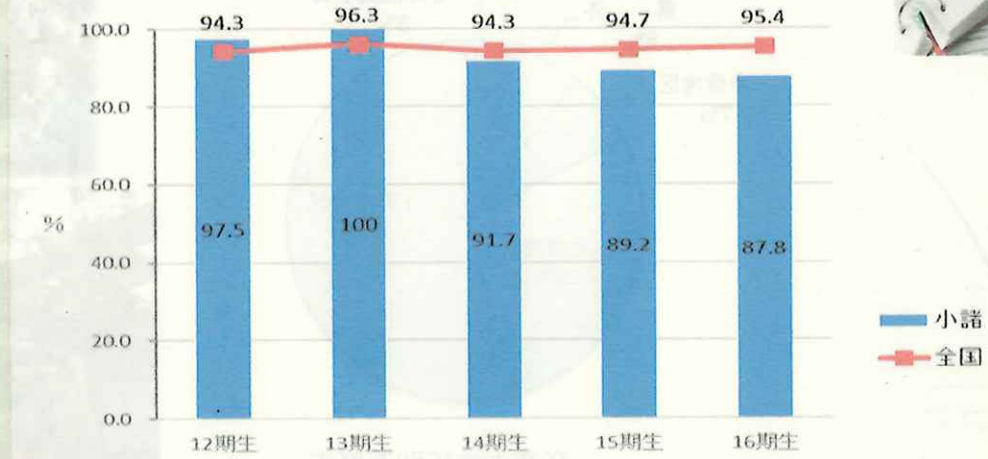
入学者状況について

地域別入学者状況



課題5：看護師国家試験合格率について

看護師国家試験合格率(新卒)



新型コロナウイルス感染対策について

＜オンライン授業に向けての取り組み＞

- ▶ 学生の通信環境の把握
- ▶ オンライン授業の整備（外部講師）
- ▶ Wi-Fi環境整備（校内）
- ▶ 感染症対策として、自宅待機学生へのオンライン授業
- ▶ 新型コロナウイルスワクチン接種（学生・教員）
- ▶ 検温チェック、体調チェック表の活用
- ▶ 学内実習（ICT,コミュニケーション等）

終わりはいつ、
どうやって？

新カリキュラム（2022年度）検討

- ▶ 教育理念
- ▶ 教育目的
- ▶ アドミッションポリシー
- ▶ 教育内容
 - ・ コミュニケーション能力
 - ・ 倫理に基づく看護実践能力
 - ・ 臨床判断能力
 - ・ 多職種連携・協働
 - ・ 専門職業人として自ら学び続ける



【ディスカッション】

1. 藤沢市医師会 湘南看護専門学校

2. 群馬県医師会

公益社団法人藤沢医師会 湘南看護専門学校の沿革・現状と課題

湘南看護専門学校教務総括監
赤見 恵司

▶ 湘南看護専門学校の沿革

- ・ 昭和43年4月 藤沢市医師会准看護学院として創立
- ・ 昭和46年4月 看護学科進学コース定時制を併設した
湘南看護学院が発足
- ・ 昭和53年4月 湘南看護専門学校に改称
- ・ 平成24年4月に一旦閉校するまでの44年間で
看護学科1,162名、準看護学科1,548名の卒業生を養成

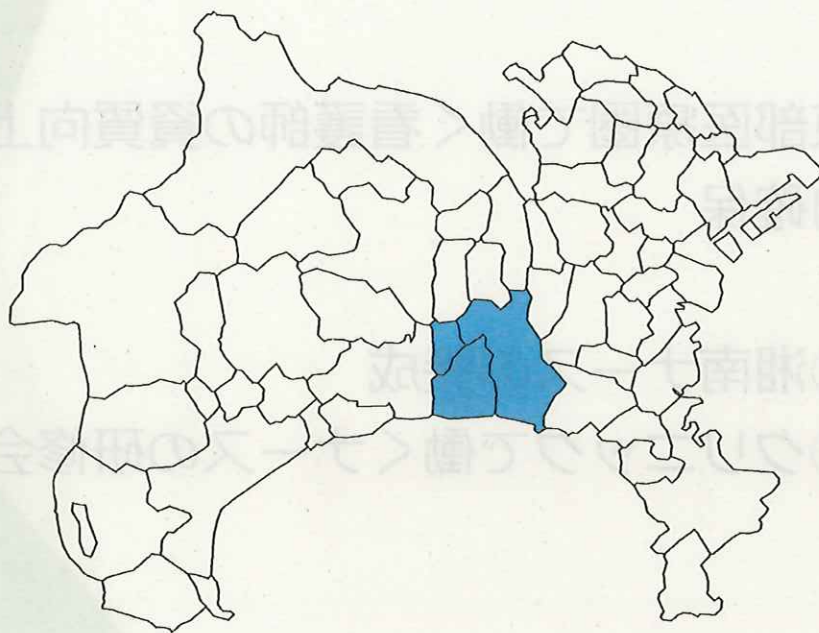
一旦閉校になった理由

- ▶ 準看護学科の実習病院確保が困難
- ▶ 昨今の傾向
- ▶ 神奈川県意向
- ▶ 校舎の老朽化
- ▶ 看護学科卒業生の藤沢市内への勤務率の低さ
(3割以下)

再開校（全日制看護学科3年制）への議論

- ▶ 看護学科だけになれば、会員の医療機関への就職率が更に下がり、医師会への膨大な負担は疑問
- ▶ 同じ課程の藤沢市立看護専門学校との競合
- ▶ 公益法人に認定されるには、公益事業である学校経営は必要
- ▶ 県からの存続要請
- ▶ 人口10万人対看護職員の数が全国平均よりも少ない神奈川県の中でも、湘南東部医療圏は更に少ない地域なので廃校は困難

湘南東部医療圏



藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町（湘南東部医療圏）の枠組

- ▶ 二市一町からの建設費負担及び5年間の運営費補助
- ▶ 地域医療介護総合保基金の活用
- ▶ 茅ヶ崎医師会の協力
- ▶ 一学年定員40名で再開校

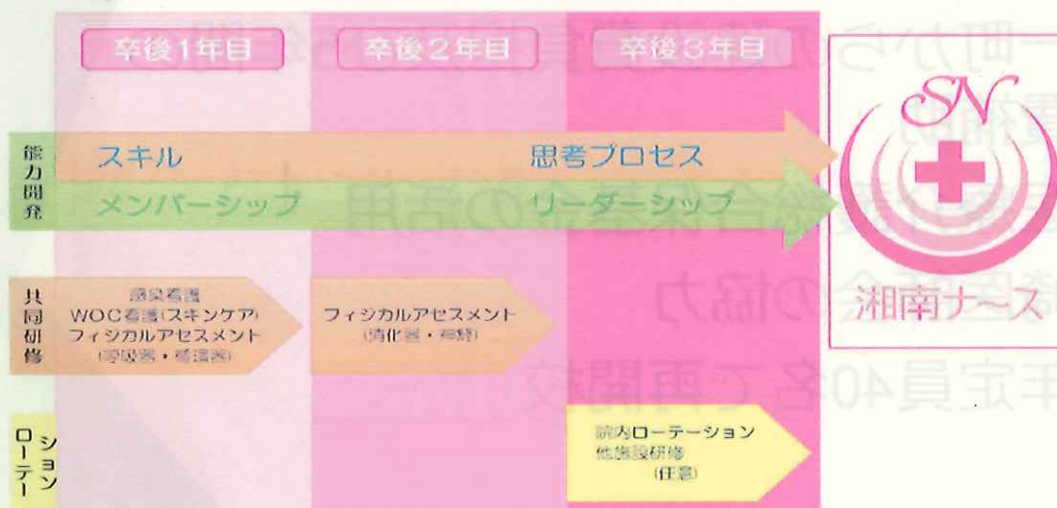
湘南ナース総合支援センターの設立

目的：湘南東部医療圏で働く看護師の資質向上と
安定的確保

活動内容：①湘南ナースの養成
②クリニックで働くナースの研修会

湘南ナース養成プログラム

共に学び 共に育む 湘南ナース




商標登録証
OFFICE OF TRADEMARK REGISTRATION
登録第5503708号
REGISTRATION NO. 5503708

商標 (THE MARK) (日本語文字)
湘南ナース

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分
CLASSIFICATION OF GOODS AND SERVICES
 第35類 看護師のあっせん、看護師の求人情報提供、看護師
 に対する就職・転職に関する指導及び助言
 第41類 看護師養成・育成のための知識及び技術の教授、看護
 ・介護に関する知識及び技術の教授、看護・介護に関
 する講習会の企画・運営又は開催、看護・介護に関す
 る講習会の企画・運営・開催に関する情報の提供及び
その特別使用権

商標権者 (OWNER OF THE TRADEMARK)
社団法人藤沢市医師会
SHOZUWA JIYU KAIKAI

出願番号 (APP. NO.) 商願2012-004643
 出願日 (FILING DATE) 平成24年 1月26日 (January 26, 2012)
 登録日 (REGISTRATION DATE) 平成24年 6月29日 (June 29, 2012)
この商標は、登録するものと等しい商標登録に使用されたことを証する。
 THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS IDENTICAL TO THE TRADEMARK OF THE APPLICANT.
 平成24年 6月29日 (June 29, 2012)

特許庁長官 (DIRECTOR, JAPAN PATENT OFFICE)
岩井良徳



湘南ナース



「湘南ナース」を目指して研修に取り組む新人看護師ら（藤沢市の湘南看護専門学校で）

3年後には「湘南ナース」 人材定着狙い 医療機関連携で新人研修

湘南東部2次保健医療圏（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）の医療機関が連携し、「湘南ナース」という称号を使って新人看護師の技術を高める研修が21日、藤沢市大庭の湘南看護専門学校で始まった。地元に着を着持ち、長く勤務してくれる人材を養成することで看護師不足の解消を狙っている。日本看護協会によると、全国的にも珍しい取り組みだという。（福浦則和）

藤沢市医師会が中心になって湘南ナース養成計画を推進してきた。同校を2013年に開校し、校内に湘南ナース総合支援センターを設置。湘南ナースの名称やシンボルマークは商標登録もしている。同校の1期生が今春卒業し、病院勤務を始めたタイミングで初めて研修を行った。

この日は卒業生18人を含む8医療機関の46人が参加。感染予防をテーマに、8グループに分かれてマスクや医療用エプロンの取り扱い、注射針の廃棄方法などを学んだ。地元の病院看護師らが講師を務め、「急いでいる時こそ、院内感染が広がらないよう注意して」などとアドバイスした。

研修は3年かけて行い、修了後に湘南ナースの称号を与える。今年度は6、7月にも各1回、研修を予定しており、他の医療機関の看護師と合同で研修を受けることで、仕事に対する視野も広げよう。

同校の上山悦代校長は

タウンニュース

2019年
(平成31年)
3月1日(金)号
No.949

大旭建設株式会社
0466-27-0001
〒251-0021 藤沢市地蔵堂5-1-15 FAX:0466-27-0001

発行：株式会社タウンニュース社 <http://www.townnews.co.jp>
編集：〒251-0021 藤沢市地蔵堂5-13-19 TEL: 0466-55-4777 (代) FAX: 0466-55-4885

「湘南ナース」32人が誕生

地域に根差した看護師に



出席者一人ひとりに認定書が手渡された

地域に根差した看護師を育て「湘南ナース」の称号授与式が16日、藤沢市医師会館で初めて行われ、32人の「湘南ナース」が誕生した。代表の看護師は「授与を励みに、初心を忘れず、それぞれの病院で活躍していきたい」と言葉を誓った。

これは藤沢・茅ヶ崎・一にて、看護師の人材不足を解消し、地域に根差した看護師を育てる湘南東部医療圏における事業。主に同医療圏の

藤沢版は毎週金曜日発行です

湘南ナース卒後合同研修の効用

- ▶ 卒後勤務先は90%以上が湘南東部医療圏（100%の年も有り）
- ▶ 同窓生との再会・情報交換・リフレッシュ効果
- ▶ 志願者数のV字回復（志望動機に湘南ナースを挙げる受験生）

今後の課題

- ・ 県、二市一町、県医師会からの安定的な補助、更に日本医師会からの補助
- ・ 卒業生の医療会員（クリニックを含む）の医療機関への高い勤務率の維持（来年度からのクリニック実習を含む新カリキュラムに期待）
- ・ 志願者数の増加もしくは維持
- ・ 湘南ナースを活用した二市一町での再就職

令和3年度関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会

シンポジウム 好事例・課題等

群馬県医師会理事
長 坂 資 夫

【准看護学校の統合（各地区の学校は教室として残す）について】

内容

各地区医師会では物心両面から大きな持ち出しをしながら地元で働く看護職員を育てるための努力を継続しています。卒後の定着率も高く、地元では医療機関、介護系施設等で幅広く活躍しています。群馬県では、令和元年・2年の2年間で准看護師475名が育ち、同2年間で2年制課程高看を卒業して正看の資格を取得した人が274名、また通信課程を利用して正看の資格を取得した人が135名となっており、准看護師として活躍しながら、着々と正看護師になり医療・介護の現場を支えています。こうした現実を踏まえ、近年、各方面から准看護学校の需要と必要性は認識されているところではあるものの、少子化+看護系大学及び民間の3年制看護師養成所の増加に押されて受験生と教員並びに実習施設の確保に苦しんでいます。3年制の看護師養成所に移行した医師会立の看護学校も、当初は順調に見えましたが、准看護学校と同様に苦戦を強いられているのが現状です。

医師会立の准看護学校を維持することは地域医療を守る上で重要な課題であるという認識を踏まえ、存続が危ぶまれる地区の准看護学校を統合して教員数、授業の集約化+ICT化を図る中で、財政的な負担軽減につながる方策を考えてみました。群馬県内准看護学校の人件費と講師謝金が占める支出の比率は平均で80.7%（75.7～89.4%）と経費の殆どを占めており、小規模校になるほどその傾向は顕著でした。コロナ禍で現実的になったリモート授業や実習の見直し等と併せて、学校という施設の在り方についても柔軟かつ多様性に富んだ工夫をする時期にあると考えます。

上記の観点から、准看護学校の統合を提案したいと思います。更に、現存する地区の准看護学校は一つの教室として残すことにより、地元で育て、地元で活躍する看護職員を減らさない仕組みが重要です。この実現には幾つものハードルがあると思いますが、今こそ各方面からのご協力とご理解を賜り、乗り越えるチャンスと考えます。皆で考えて乗り切ってみませんか？

【特別講演】

「長野県における健康づくり事業団の役割」

講師略歴

◆1982年 東北大学文学部哲学科卒、長野県採用

医療推進課長、県民文化部長等を経て2019年長野県退職

同年6月公益財団法人 長野県健康づくり事業団専務理事に就任

令和3年度関東甲信越医師会連合会
医師会共同利用施設分科会

長野県における健康づくり事業団の役割

公益財団法人 長野県健康づくり事業団
専務理事 角田道夫

沿革と組織体制

沿革

- 2000年4月 結核予防会長野県支部、長野県成人病予防協会（日本対がん協会長野県支部）が統合
- 2004年4月 長野県及び長野県地域包括医療協議会により実施されていた、旧長野県長野総合健康センター・同伊那総合健康センターの業務委譲を受け、長野健康センター・伊那健康センターを開設
- 2013年4月 公益財団法人に移行

役員・組織

- 役員等 会長（県知事） 理事長（県医師会長・代表理事）
理事、監事、評議員
- 組織 事務局、医療局 3部2所9課
- 常勤職員 177名
（医師8名、保健師・看護師33名、診療放射線技師22名、臨床検査技師29名、管理栄養士4名、歯科衛生士2名、事務79名）

2

事業概要

3

主な健診事業

◆巡回健診（検診車数）

結核・肺がん検診（10台）

肺がんCT検診（1台）

循環器健診（9台）

腹部超音波検診（1台）

胃がん検診（8台）

大腸がん検診

マンモグラフィ検診（3台）

乳房超音波検診（3台）

子宮頸がん検診（2台）

前立腺がん検診

骨健診



4

主な健診事業

◆施設健診

人間ドック・女性ドック

生活習慣病予防健診

特定健診

定期健診

単独健診（各部位）

本部
長野健康センター



伊那健康センター



5

健診受託市町村の状況（2021年度）

県下市町村内訳	
検診科目	市町村
3以上	67 
2以下	5 
0（受託無し）	5 



6

事業（2020年度）

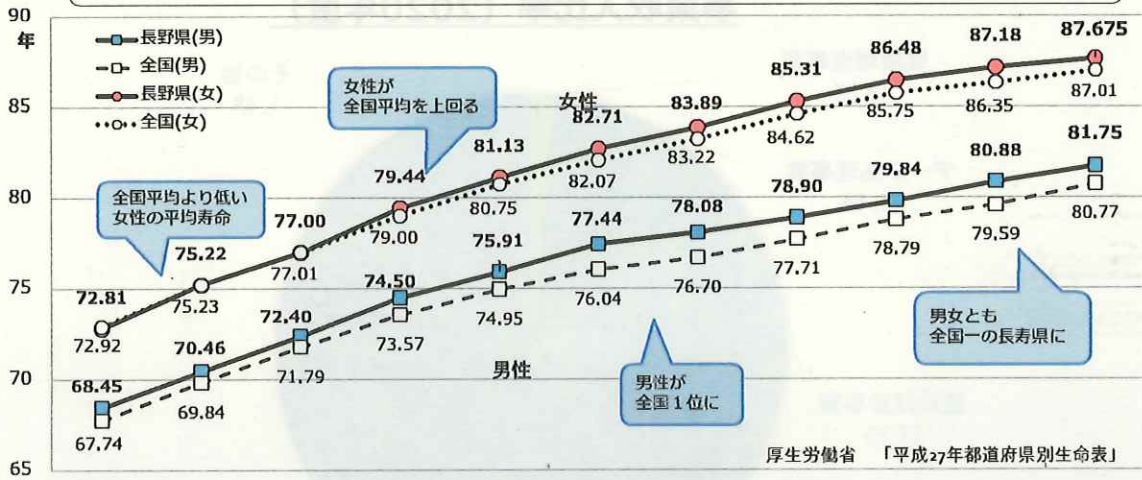
事業内容

- ・巡回健診事業
72市町村、554事業所 518,678人
- ・施設健診事業
長野・伊那健康センター 17,930人
- ・データ処理事業
38市町村国保、17郡市医師会 84,495件
- ・健康増進事業
特定保健指導 14団体 1,013人
健診終了後事後指導、健康づくり教室、セミナー等 155回
- ・その他

7

平均寿命 — 日本の中の長野県 —

長野県の平均寿命 ⇒ 男性は全国2位、女性は1位 (平成27年)

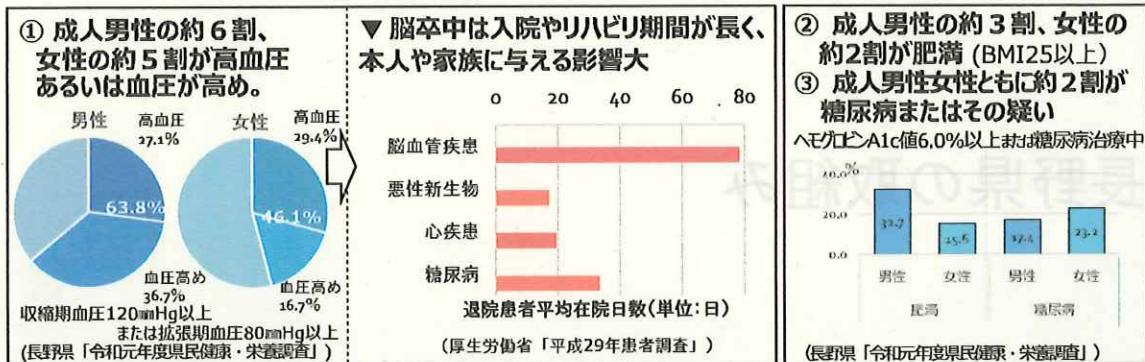


全国順位	昭和40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年
長野県 男性	9位	7位	4位	3位	2位	1位	1位	1位	1位	1位	2位
長野県 女性	26位	19位	16位	9位	9位	4位	4位	3位	5位	1位	1位

～長野県健康福祉部 資料～ 10

長野県の健康課題

【健康課題】脳卒中や心疾患の原因となる高血圧、肥満や糖尿病などの予防が喫緊の課題。



脳卒中などの原因となる高血圧・糖尿病や、死因の上位であるがんなどを予防するため 食生活や運動など生活習慣の改善に取り組むことが重要

～長野県健康福祉部 資料～ 11

信州ACE（エース）プロジェクト

(1) 長野県が目指す健康長寿

単に「長生き」を追求するだけでなく、一人ひとりが生涯にわたり尊厳と生きがいを持ち、その人らしく健やかで幸せに暮らせる「しあわせ健康県」を実現。

しあわせな暮らしの基礎となる県民一人ひとりの健康を更に増進するため、長野県の課題である脳卒中などを予防するための生活習慣の改善に取り組む「県民運動」を展開。

○ ACEは、脳卒中等の生活習慣病予防に効果のある

Action	体を動かす
Check	健診を受ける
Eat	健康に食べる

を表します。



H26.6/22 食育推進全国大会「知事によるスタート宣言」

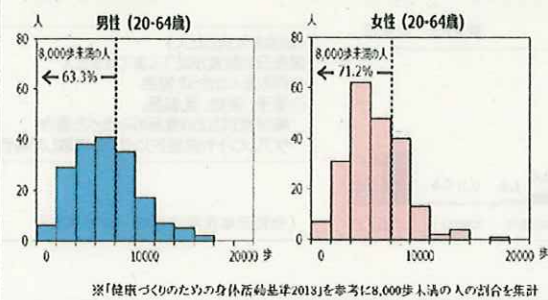
○ 世界で一番（ACE）の健康長寿を目指す想いを込めたもの。

～長野県健康福祉部 資料～ 12

(2) 長野県民の Action・Check・Eatの状況 その1

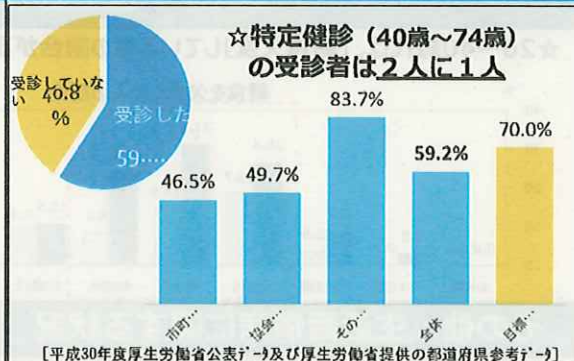
Action：身体活動（歩行数）の状況

☆男性の約7割、女性の約6割が目標歩行数※に達していない。



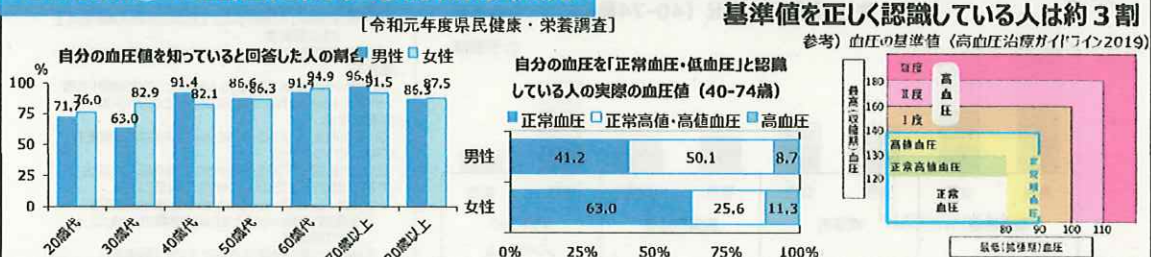
Check①：特定健診の受診状況

☆特定健診（40歳～74歳）の受診者は2人に1人



Check②：血圧に関する認識の状況

☆8割以上の者が自分の血圧値を知っているが、基準値を正しく認識している人は約3割

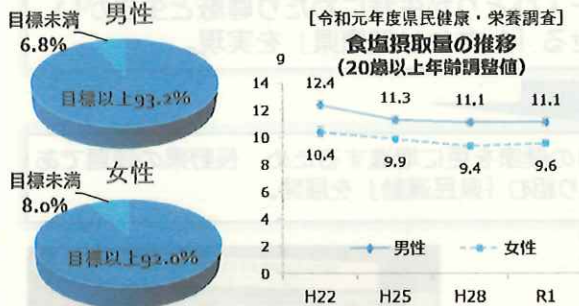


～長野県健康福祉部 資料～ 13

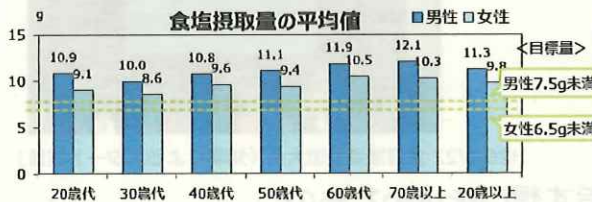
(2) 長野県民の Action・Check・Eatの状況 その2

Eat①：食塩摂取の状況

☆1日の食塩摂取量の平均は男性11.3g、女性9.8g
約9割の男女が食塩をとり過ぎ。



※ 高血圧、脳卒中予防の観点から、国で設定した男性8g未満、女性7g未満を超えている人



Eat②：野菜摂取の状況

☆20～50歳代の野菜摂取が少なく、
男性の約6割、女性の約7割が野菜不足。



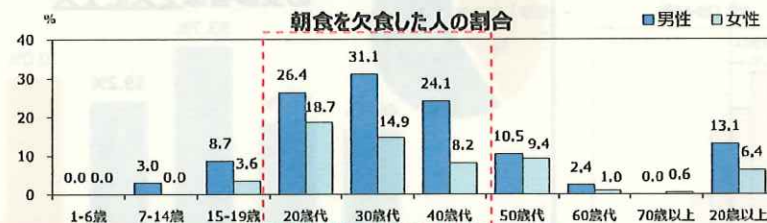
350g未満の人 (20歳以上)
男性67.9%
女性72.5%

～長野県健康福祉部 資料～ 14

(2) 長野県民の Action・Check・Eatの状況 その3

Eat③：食生活の状況 (朝食欠食)

☆20～40歳代は、「朝食欠食」している者の割合が高い。

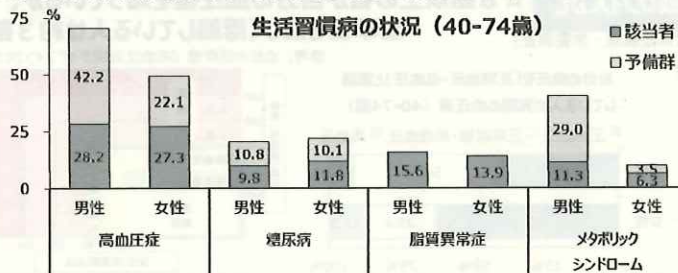


〈朝食を欠食した人〉
調査日の朝食が以下にあてはまる人
○何も食べなかった場合
○菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
○サプリメントや栄養ドリンクのみ摂取した場合

[令和元年度県民健康・栄養調査]

その他：生活習慣病に関する状況

☆生活習慣病対策の総合的な実施と糖尿病発症予防・重症化予防の取組が重要。



○高血圧症
該当者：収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上または服薬者
予備群：収縮期120-139mmHgまたは拡張期80-89mmHg
○糖尿病
該当者：HbA1c(NGSP値)6.5%以上または治療中の者
予備群：HbA1c(NGSP値)6.0%以上6.5%未満
○脂質異常症
該当者：HDLコレステロール40mg/dl未満または服薬者
○メタボリックシンドローム
該当者：①～③のうち2項目以上に該当
予備群：①～③のうち1項目に該当
①HDLコレステロール40mg/dl未満 または服薬者
②収縮期130mmHg以上または拡張期85mmHg以上 または服薬者
③HbA1c(NGSP値)6.0%以上または服薬者

[令和元年度県民健康・栄養調査]

～長野県健康福祉部 資料～ 15

Check の取組

市町村等の健診受診率向上や保健指導の取組を支援しています。

～健診受診率・保健指導実施率は全国上位を維持～



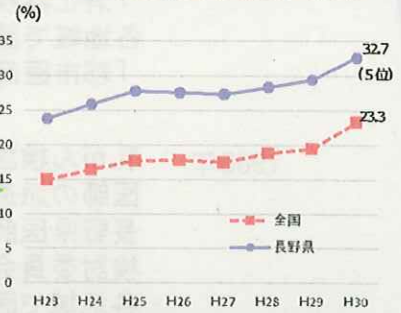
健診受診率の高い市町村の取組 (%)

- ① 広報紙、各種便りに案内・特集を掲載 94.3
- ② 健診項目を付加 (詳細健診項目など) 85.7
- ③ 分かりやすい通知づくり (記載内容、封筒の色、記載が楽など) 82.9
- ④ 未受診者への受診勧奨 77.1
- ⑤ 受診券を本人宛に直送 74.3

保健指導実施率の高い市町村の取組

- ① 対象者の都合に合わせて実施 98.1(%)
- ② 健診結果を対面で提供 96.3
- ③ 個別訪問により実施 92.6
- ④ 夜間に実施 50.0
- ⑤ 家族に必要性を理解してもらおう 46.3

■ 特定保健指導実施率の推移 (%)



※ 順位は降順 (高いものから原単位付)

【特定健診・特定保健指導の実施率向上の取組状況調査 (平成29年度県健康増進課実施)】

糖尿病性腎症重症化予防の取組

県糖尿病性腎症重症化予防プログラム (H29.8改定) を基に、市町村が医療機関と連携した保健指導等を行う体制づくりを支援。

	(H29年度)	(R1年度)
専門職(保健師、管理栄養士等)による保健指導の実施	57市町村 (74.0%)	73市町村 (94.8%)

～長野県健康福祉部 資料～ 16



特定健診・保健指導従事者研修会を保険者協議会と共催で毎年開催

医師会との連携

<経過>

- 1971年 胃がん検診の開始に伴い、読影を長野県医師会へ委託
長野県医師会では、読影技術の普及と標準化のために
「消化器検診検討委員会」を設置
各地域で読影を行うために、22の郡市医師会に
「郡市医師会読影委員会」を設置
- 1980年 乳がん検診（視触診に一部超音波検査併用）の開始に伴い、
医師の派遣を長野県医師会へ委託
長野県医師会では、技術の普及と標準化のために「乳房検診
検討委員会」を設置
各地域で医師派遣を依頼するために、22の郡市医師会に
「郡市医師会乳房集団検診委員会」を設置
- 1983年 胃がん検診及び乳がん検診の撮影技術等精度の向上・指導を
行うために、長野県医師会より医療担当常務理事就任（～2016年）

18

事業団からの委託事業

- 1) 胃集団検診デジタル画像読影
年間50,000件に及ぶ画像判定
- 2) がん検診精度向上事業
 - 胃検診読影技術向上に係る研修会の開催
 - ・研修会 年2回開催
 - 各回、読影に携わる医師30名が参加
 - 超音波診断及びマンモグラフィ診断の精度向上に係る研修会の開催
 - ・研修会 年2回開催
 - 各回、超音波診断及びマンモグラフィ診断に携わる医師30名が参加
 - 肺がん検診読影技術向上に係る研修会の開催
 - ・研修会 年2回開催
 - 各回、胸部単純写真（一部CT検査を含む）に携わる医師30名が参加
 - 肺がんCT検診、乳がんマンモグラフィ検診、大腸がん検診、
前立腺がん検診の各事業における精密検査医療機関の推薦

19

事業団の受託事業

健診事業 学校心臓検診

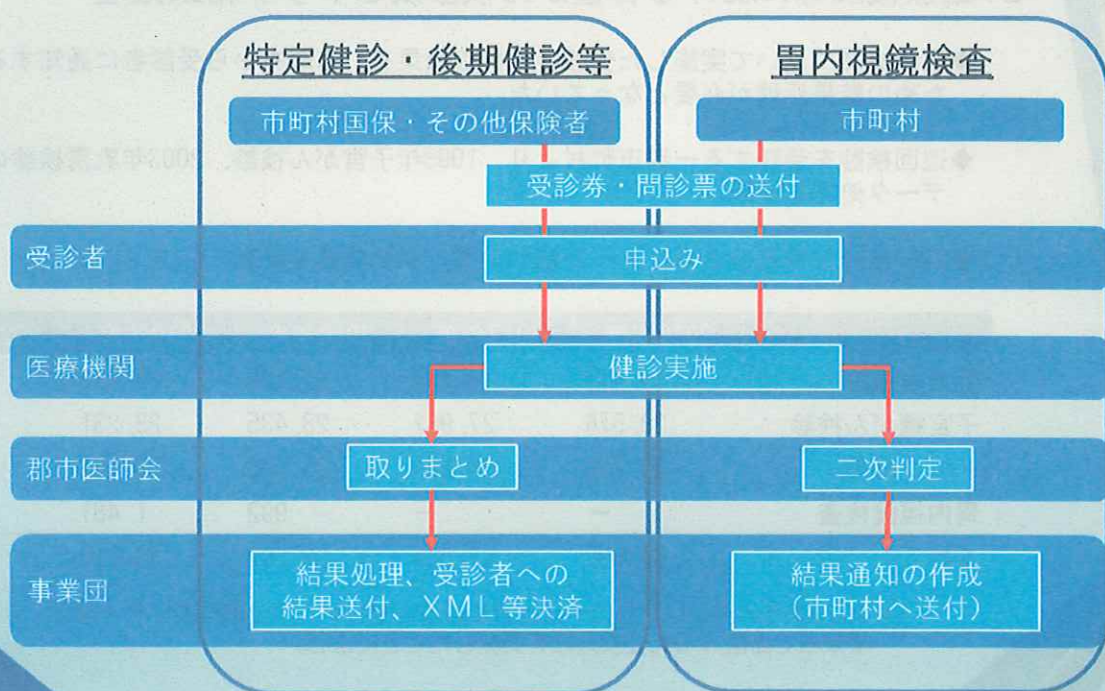
県・市町村教育委員会からの受託、年間30,000人
1995年学校保健法改正により小学校1年生、中学校1年生及び高校1年生全員に、長野県医師会の「学校心臓検診のガイドライン」に基づき実施

データ処理事業 特定健診及び胃内視鏡検査等

特定健診の費用決済のために、XML型式によるデータの提出が求められたことから、医療機関における事務手続きが増加
この代行処理（結果処理及び決済申請等）業務を受託し、年間80,000人実施
2016年胃検診の内視鏡検査が対策型に加えられたことから、医療機関及び市町村の事務手続きが増加
この結果処理業務を受託し、年間1,700人実施

20

データ処理事業の概要



21

データ処理事業の概要

1. 特定健診結果処理

- ◆2008年度、高齢者医療確保法の施行により、従来市町村が実施する健康診査から、国保等の医療保険者による「特定健診」へ移行
- ◆「特定健診」では、国保連等へ提出する費用決済のために、XML型式によるデータの提出が求められたことから、医療機関における事務手続きが増加
- ◆この代行処理（決済申請等）業務を医療保険者及び郡市医師会から受託
- ◆受診者への結果通知書の作成業務を併せて受託

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
処理件数	78,588	80,555	84,079	83,119	84,495

22

2. 医療機関等における各種がん検診及びドック結果処理

- ◆医療機関において実施した受診者の検診結果を、市町村から受診者に通知するための結果処理が必要となっていた
- ◆巡回検診を受託する一部市町村より、1998年子宮がん検診、2003年乳房検診のデータ処理を受託
- ◆2000年一部事業所より、ドック健診のデータ化業務を受託

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
乳がん検診	16,413	14,733	14,625	14,362	12,018
子宮頸がん検診	28,576	27,962	28,435	28,231	25,950
ドック処理	20,710	24,641	25,540	25,101	17,831
胃内視鏡検査	—	—	992	1,461	1,726
合計	65,699	67,336	69,592	69,155	57,525

※2020年度の減少は、コロナによる受診控え及びドック処理において一部の事業所で自前のXML変換処理を実施したことによる。

23

新型コロナウイルスの影響

24

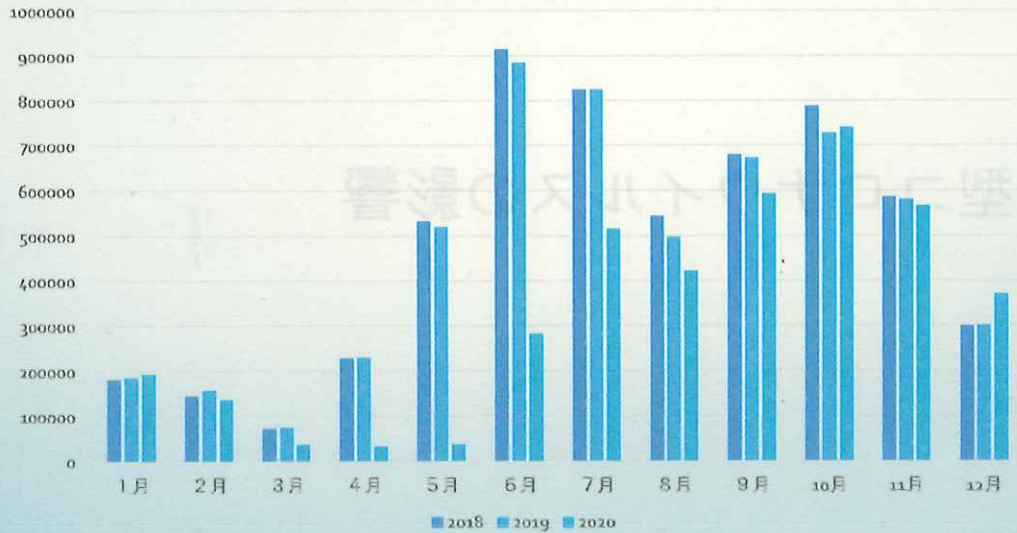
健診事業への影響（2020年度）

中止	延期
40カ所	436カ所
36,800人（6%）	115,500人（20%）
▲1億6千万円	4億円

25

全国のがん検診の状況

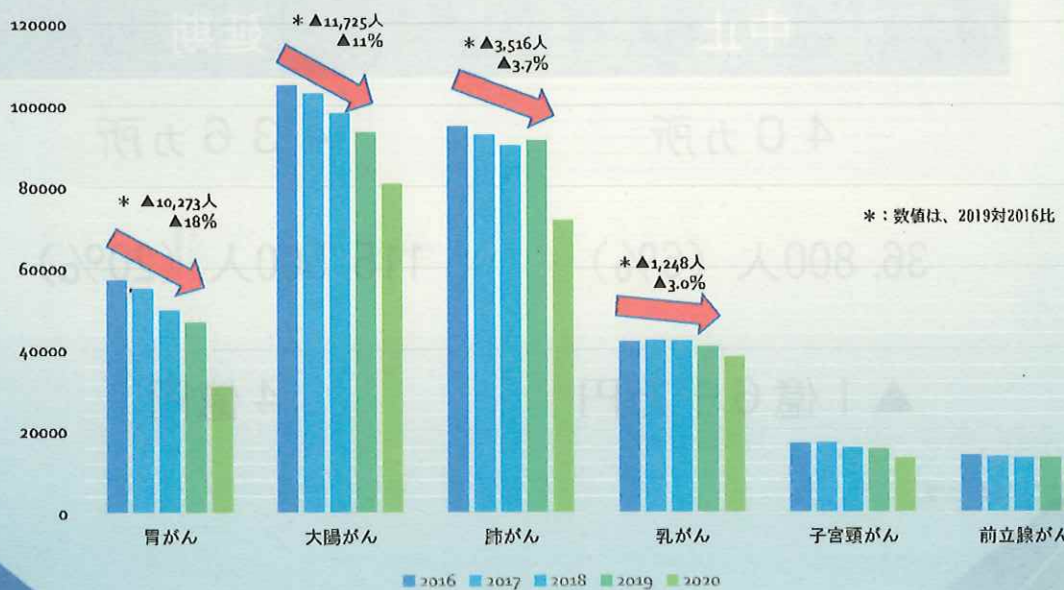
5つのがん検診 受診者の月別推移（延べ人数）



日本対がん協会 調査

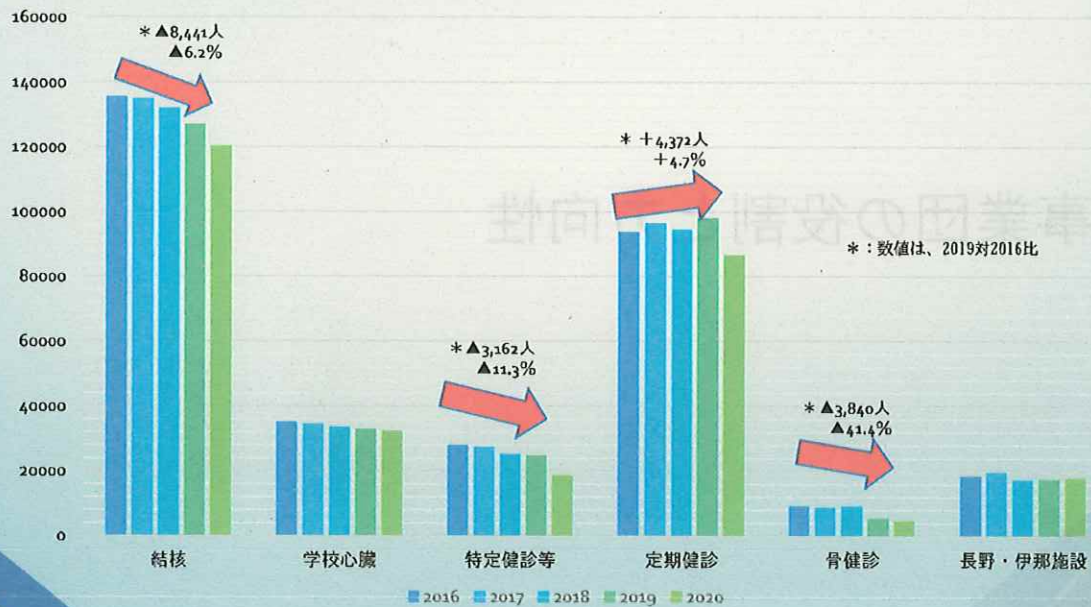
受診者数の状況（事業団）

がん検診事業の状況



受診者数の状況（事業団）

がん検診以外の検診事業の状況



28

ワクチンの接種状況

- 事業団の位置づけ

基本型接種施設（県内31施設）

- 実施状況（2021年8月31日現在）

- ▶ 医療従事者先行接種 2,047人（4,089回接種）
- ▶ 住民接種（高齢者、基礎疾患患者、一般） 2,211人（3,858回接種）
- ▶ 職域接種 1,632人（2,282回接種）

その他 長野市、伊那市の大規模接種会場での接種協力

29

事業団の役割と方向性

30

1. 果たすべき役割

- 1) 長野県内をカバーする広域健診体制
- 2) 『健康長寿長野県』実現への貢献
- 3) 長野県医師会との連携による健診水準の確保と向上
- 4) 新たな感染症まん延状況への対応

31

2. 経営の方向性

前提

○ 少子高齢化を背景に健（検）診受診者数の減少傾向は継続

○ 新型コロナウイルス感染症のまん延状況による事業への影響

⇒ 長野県内の主要健（検）診機関のひとつとして、今後も社会的な要請に応えていく

受診者満足度の高い健（検）診サービスを提供し、信頼される健（検）診機関として事業を続けていくためには、安定した経営を中長期的に確実に維持することが必須

《方向性》

- 1 新規顧客の獲得
- 2 新たな事業展開
- 3 事業の効率化
- 4 高いスキルを備えた専門人材の育成

32

アクションプランの策定（2021年度から2023年度）

- 渉外強化による新たな提案と顧客の拡大
- 健診車両や検査器材の精査と計画的な更新
- 小規模健診会場と短時間健診の集約による効率化
- アウトソーシングの徹底的な検討
- 適正な人員体制の確立
- 専門スキルの向上と担当可能分野の拡大
- 職員の意識改革

33

【誌上報告資料】

(各都県医師会から提出いただいた
看護師等養成所の運営に関する好事例・課題等)

※医師会立看護師等養成所運営等に関する好事例や課題等について、多数お寄せいただいたところですが、時間の都合上、以下の好事例・課題等については、誌上発表とさせていただきます。

令和3年度関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会
シンポジウム 好事例・課題等

●【茨城県医師会】

<p>内容</p>	<p>茨城県内の医師会立看護師等養成所の現状</p> <p>1. 現状</p> <p>A. 募集定員充足率</p> <p>看護師3年過程が98%で最も充足率が高い。准看護師養成は年々減少し2020年度には73%である。</p> <div data-bbox="295 907 1420 1646" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>看護師等養成所定員充足率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>准看護師課程 (%)</th> <th>看護師3年課程 (%)</th> <th>看護師2年課程 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>91%</td> <td>98%</td> <td>104%</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>92%</td> <td>108%</td> <td>104%</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>83%</td> <td>88%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>92%</td> <td>93%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>82%</td> <td>103%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>78%</td> <td>73%</td> <td>66%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>73%</td> <td>98%</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>B. 卒業後 (2020・2019・2018年度卒業生平均)</p> <p>看護3年・2年課程の場合、県内就職率83.7%、准看護過程53.7%であった。進学率は前者が0.4%に対し後者は26.2%であった。</p> <p>2. 好事例</p> <p>①日立メディカルセンター看護専門学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月より看護3年課程を新設（2年課程，准看護課程の廃止） <p>②真壁医師会准看護学院</p>	年度	准看護師課程 (%)	看護師3年課程 (%)	看護師2年課程 (%)	2014	91%	98%	104%	2015	92%	108%	104%	2016	83%	88%	95%	2017	92%	93%	90%	2018	82%	103%	90%	2019	78%	73%	66%	2020	73%	98%	90%
年度	准看護師課程 (%)	看護師3年課程 (%)	看護師2年課程 (%)																														
2014	91%	98%	104%																														
2015	92%	108%	104%																														
2016	83%	88%	95%																														
2017	92%	93%	90%																														
2018	82%	103%	90%																														
2019	78%	73%	66%																														
2020	73%	98%	90%																														

	<ul style="list-style-type: none"> ・募集時の広報の IT 化 (電話だけでなくホームページから照会可能とした) ・推薦枠の設定 <p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各養成校、特に准看護師養成課程の定員をどう確保するか？ ②運営をどうするか？ <ul style="list-style-type: none"> ・資金面 (各医師会・県医師会・自治体の補助・支援) ・教育施設・実習施設の確保 ・養成内容の再検討
--	---

●【高崎市医師会看護専門学校 (群馬県 高崎市医師会)】

内容	<p><三密を避けるための対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの授業でも複数の教室に分かれて受講する分散授業を行った。 ・授業の対象人数が多くなってしまう授業の場合は講堂を利用し、三密を徹底的に避けるようにした。 ・登校時間に時間差をもうける分散登校を導入した。クラスごとに登校日を分けたり、またクラスの中でも登校時間を分けるなどの工夫をして密を避けた。 ・病院実習ができず校内で実習も、同様に生徒を午前と午後に分けて登校させ一度に実習室に入る人数を少なくした。 <p><教室の換気設備、消毒設備等の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気の改善を図る為、扇風機を新たに28台購入し、全教室に複数台を配置し現有の設備とともに換気対策の徹底を図った。卒業式や入学式といった大人数がさけられない会場利用となる場合は紫外線消毒器4台を医師会より借用し利用した。勿論空気の入替えには十分な配慮した。正面玄関にはオートディスペンサー付きの検温・消毒器を配置。また、すべての教室入口にアルコール消毒液を配置し、生徒の登校時には必ず体温測定をおこない、毎回健康観察票の提示を義務付けた。 <p><教室に必要な ICT 機能の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散授業 (二教室での同一授業) を可能にするため、Wi-Fi 環境の整備、音響および放映環境の整備を行い、複数の教室で音声映像が共有できるように通信環境を整備した。 ・オンライン授業の実施 ・オンデマンド授業の実施。 <p>【YouTube 利用の場合】</p> <p>オンデマンド型：・パワーポイントの録音機能を使い、音声を入れる。</p>
----	---

・パワーポイントで録画したデータをパワーポイントの「ビデオの作成機能」をつかい動画に変換し作成したものを YouTube にアップロードする。

・アップロードした際の URL を生徒にさくら連絡網で生徒に送り、アクセスし視聴できるようにした。

リアルタイム配信：・ウェブカメラ、マイク、OBS（動画共有ソフト）を使用 YouTube からライブ配信する。

・ライブ配信のスケジュールを予約した際に、ライブ配信を行う URL が発行されるので、それを生徒にさくら連絡網で送り、定時にアクセスすることで授業を視聴できるようにした。

セキュリティーに対しては、一応の配慮をしたが、脆弱なものとなっているので今後の改善が必要かと思えます。いずれの授業も生徒への連絡用に利用している「さくら連絡網」にて URL を生徒に送りアクセスできるようにしている。限定公開と設定されているが、URL が漏れてしまえば誰でも視聴可能というのは問題とは思う。

※注）さくら連絡網：有料のメール配信機能（インターネット上で管理）受信者（生徒）にメールやアプリ、LINE で学校からの伝達事項を全生徒に送っている。

【ZOOM 利用の場合】

生徒の得手不得手があり、色々な通信環境下にあるため YouTube を使った授業を補完する意味から ZOOM を利用したライブ授業とオンデマンド授業も準備した。前記した様に校内の通信環境の整備を行うとともに、生徒の使用するデバイスや通信契約容量の調査も行った。25 歳未満の生徒には 5 0GB までの通信割引サービスの存在をアナウンスするとともに、電話回線を利用した受講は出来るだけ控えるように指導した。

リアルタイム配信：ZOOM ミーティングの持つ機能をそのまま利用したライブ授業。

学校がホストとなり、講師や生徒をゲストとして招いて開催します。

オンデマンド授業：ZOOM のレコーディング機能を利用し講義の様態を録画し作成した録画ファイルをアップロードしたり、電子媒体を利用して生徒に配布するなどオンデマンド授業の用意もした。またライブ授業やオンデマンド授業に対応できない環境にある生徒に対しては、紙媒体を利用したりリモート授業（以前の通信教育）や登校して個別授業を受講させるなどの対応をとった。

生徒への連絡手段は YouTube と同様、さくら連絡網で行う。

Zoom で録画した動画も YouTube にアップロードし、アップロードした際の URL

を生徒にさくら連絡網で生徒に送り、アクセスし視聴できるようにする。

●【富岡市甘楽郡医師会立富岡准看護学校（群馬県 富岡市甘楽郡医師会）】

【生徒募集に関する今までの取り組みと現状報告、今後の課題】

内容

前年(平成 29 年度)の入試結果で受験者数の減少に直面し、緊急対策会議を実施。准看護師や准看護学校の認知度(場所、何をするのか、どんな資格なのか、学費はどのくらいかかるのか等)が低いことが原因では考えた。県内に看護専門学校や看護大学が多く高校生の受験者が望めないことから、人口年齢分布で最も多いとされている 30~40 代女性に焦点を当て、准看護学校をより深く理解してもらうために「学校見学」を計画した。「学校見学」用チラシを作成し、当校のホームページ、市町村広報誌(4 誌)に掲載した。また、掲示場所として、子育て世代の方が利用すると思われる公共施設(各公民館、障害学習センター、文化ホール、市民体育館、保健センター、児童館、保育施設)、と同時に、興味のある人が気軽に手に取って見られるように各施設や管内医療機関にもチラシを置いていただいた。学校見学は電話予約制とし、教職員とマンツーマン形式でこども同伴も可とし、約 30 分間かけて丁寧に実施した。

結果、この年は入学生 33 名(定員 32 名)を確保でき、効果的な取り組みであったと考える。翌年には地域の「回覧板」を活用して富岡市全域に「学校見学」のチラシを回覧したが効果は望めなかった。平成 31 年度からは思うように受験者数が伸びず、学生確保が困難な状況が続いている。そのような状況の中で新たな取り組みとして、令和 2 年度入学試験から管内の医療施設や老人保健施設等に勤務している看護助手や介護職を対象とした施設長推薦入学試験を導入した。(※ 1) 令和 3 年度入学試験からは他校の例に倣い 11 月に前期入学試験(施設長推薦入学試験と同日)も導入した。令和 2 年度施設長推薦入学試験の受験者は 1 名であったが、令和 3 年度施設長推薦入学試験の受験者は 4 名(うち学校見学者 2 名)で、前期入学試験の受験者は 10 名(うち学校見学者 7 名)で

あった。しかし後期入学試験に至っては、全体的な受験者数が減少し、なかでも、ターゲットとしてきた 30~40 代女性が少ないと感じた。予測であるが、コロナ禍で家庭や子供への感染リスクの不安が増大する中、受験を控えてしまったことが影響したのではないかと考える。施設長推薦入学試験や前期入学試験は一定の効果が得られたと判断し、来年度も実施する方向である。コロナウイルスの影響が続くなかで、どのような取り組みが有効であるのか具体的には見えてこないが今、言えるのは感染対策を徹底し、安全な学校運営を目指していくこと、それが信頼を得ることにもつながり、のちに受験者数の増加につながることを期待したい。

※1

従来		一般入学試験(1月)	二次、三次(2・3月)
令和2年度入学試験	施設長推薦入学試験(11月)	一般入学試験(1月)	二次、三次(2・3月)
令和3年度入学試験	施設長推薦入学試験(11月) 前期入学試験(11月)	後期入学試験(1月)	後期二次入学試験(実施せず) 後期三次入学試験(3月)

●【前橋市医師会立前橋高等看護学院・前橋准看護学校(群馬県 前橋市医師会)】

内容	<p>前橋准看の ICT 環境整備</p> <p>当校は平成24年に現在の場所に新築移転したが、昨年よりコロナ感染対策としてオンライン授業への対応や、「看護職への ICT に対する基礎的知識の提供、対応力の向上」に向けたデジタルインフラの整備が課題であり、次の3つの問題点が挙げられる。</p> <p>①当校のネット環境である。現在はすべてのフロアに LAN 配線は設置しているが Wi-Fi 環境は職員室のみとなっている。また学生用のタブレット端末や PC は用意できていない。このため学校として活用している電子教科書やアプリ、ソフトはない。しかし令和3年度に前橋市より、コロナ感染対策およびデジタル化の補助金申請が一部認められ、今年度に校内をメッシュ Wi-Fi 化する計画である。</p> <p>②看護系の ICT に詳しく、生徒を指導する人材、カリキュラムが不足していることである。前述のとおり当校ではデジタル化推進は立ち上げている途中のプロジェクトであり、予測された点でもある。このため研修会やオンライン授業などを行っている外部講師の方々に協力依頼を考えている。</p> <p>③タブレット端末の問題である。生徒の買取とするのか、リース契約とするのか、または県内で集合契約のような形が可能なのか、現状では結論が出せないが、この点は喫緊の課題とは考えていないため経過を見るにとどめている。</p> <p>以上が当校における ICT 環境整備の現状と課題と考えている。</p>
----	---

●【桐生准看護学校(群馬県 桐生市医師会)】

内容	<p>入学希望者(受験者)の減少および入学者の減少(定員割れ)による収入の減少、即経営の困難性への直結、どうしたら良いか?</p>
----	---

●【渋川看護専門学校（群馬県 渋川地区医師会）】

内容	<p>18歳人口が減少する中、看護師養成所の新設と既存の養成所の定員増により、群馬県内看護師養成所の1学年定員は増加している。当校では予てより、所定の修業年限（3年）で成業し得る学生の選抜を目指しているが、入学生の基礎学力・生活力は年々低下し、修学途中で進路変更する者や、所定期間では卒業に至らない学生が増加している。</p> <p>また、多数の看護大学・看護師養成所の実習を受け入れている施設では、当校学生の実習期間が限定され、学習進度に合わせた効果的な実習配置ができなくなっている。</p> <p>「成業に向け努力を継続できる学生」と「学生の特性に合わせ学習支援をする専任教員」の確保が課題である。</p>
----	---

●【藤岡准看護学校（群馬県 藤岡多野医師会）】

内容	<p>好事例・課題等についてとのことですが、今回は主に閉校に至るまでの過程についてご報告したいと思います。</p> <p>平成17年頃から定時総会等で准看護学校の運営等について会員から意見が出始め、執行部としては平成18年6月29日に懇話会の場を設けました。</p> <p>会員からは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別会費が減少している中で学校の存続は必要か？ ・学校の成り立ちは必然性だったが、今は社会的なものになっている。会員の負担を背負ってまでの存在意義は？ ・入学者の減少傾向による対策は？ <p>等々の意見があり、執行部としては…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化等の影響もあり、ナースよりもケア方面に人材が流れているため存続が不可欠。 ・医師会の負担が増加している対応としては、補助金の増額を行政に働きかける。 <p>ということ、また手上げでの確認では存続5割と廃止5割と半数に分かれましたが、江原会長の強い意向もありできる限り続けたいとのことでの検討会は継続開催していくという事で終わりました。</p> <p>その後はリーマンショック等の不景気により、受験者数の増加、それによる医師会からの繰入金金の減少等があり、会員からの意見も特になく、しばらく会議は開かれませんでした。</p> <p>次に平成29年9月29日に准看対策委員会として開催されました。開催の要因としては学生の定員割れ、医師会負担の増加、会員の高齢化による講師不足等がありました。</p> <p>会員からは…</p>
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に多く働いてもらっている、存続は必要不可欠。 ・経費、講師の問題が大きい。医師会が背負う必要はない。 ・定員割れが進めば必ず破綻する。 ・現実的に考えて存続は無理だろう。 <p>との意見があり、執行部からは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番は費用と講師の問題だが対策を検討し判断したい。 <p>また、手上げでの確認では存続1割、存続を希望するが廃止もやむなし5割、廃止4割という結果になり、前回と比べても廃止もしくは廃止もやむなしが大勢を占めました。</p> <p>講師の問題も解決策は見つからず、生徒数は減少し続け、医師会としての負担も大きくなる一方で、その後の会議についても廃止が大勢を占めることになりはななく、令和3年3月12日の会議で令和4年度の募集はせず、令和3年度の入学者が卒業をもって学校は廃止するという事で全会一致し、令和3年3月31日の総会で廃止を決議致しました。</p>
--	--

●【吾妻郡医師会立吾妻准看護学校（群馬県 吾妻郡医師会）】

内容	<p>ここ数年、学生数が定員に大分満たないため、学校運営において郡医師会より高額な補助を受けている現状である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高齢化・過疎地域のため学生の確保の困難さがある。 年々受験者数が減少、高校新卒者の入学希望減少 チラシを作成し公共施設等に置いても問い合わせがない。 ②産婦人科・小児科実習が施設不足により十分にできない。 ③医師会の医師不足のため講師確保に苦慮している。
----	--

●【埼玉県医師会】

内容	<p>埼玉県の医師会立准看護師養成所は全国で最も多く14校で、医師会立看護師学校養成所12校と共に地域医療の現場を支える一役を担ってきました。しかし、このコロナ禍の中、オンライン授業を取り入れ、分散授業とするなど、各学校は出来る限りの体制で授業を続けています。また、実習病院もコロナ対応のなか、学生をなんとか受け入れ、不足の分は学内実習や演習等で対応しております。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、失業率も高く、医療系への流れで受験者数が増えると思込んでいましたが、受験者数は横ばいか学校によっては減ってしまったところもあります。また4次入試まで施行</p>
----	---

せざるを得ない学校もありました。准看護学校 14 校中、定員割れした学校は 6 校で、30 人定員に 9 人の入学者となってしまった学校もあります。また看護専門学校等 12 校中、6 校が定員割れとなっています。

経営状況が困窮している養成所は非常に多く、収支バランスはマイナスとなっています。医師会からの拠出金は、約 100 万円から 1000 万円を超える場合があります、PTA や後援会からの補助を行っている学校もあります。また埼玉県からの補助金は、県内の就職率や資格試験・国家試験の合格率により、各学校で違いがあります。

昨年に続き、今年度も実習施設の確保は難しい状況です。実習施設によっては、事前の PCR 検査を求められるため、生徒や教務が実習に行く度に検査するとなると、かなりの出費となります。そのため、コロナワクチン接種を実習施設等に、医療従事者として打って戴くようお願いし、無事に接種を行えた学校もあります。

埼玉県医師会では①医師会会計からの多額の繰り入れ、②教員不足・育成問題、③実習病院不足問題、④受験希望者の減少、などの問題が重くのしかかり、運営が限界に達していると平成 29 年 2 月に「問題が解決されない場合、医師会立学校養成所は全廃せざるを得ない」との決議を、埼玉県知事、厚生労働大臣に提出しました。その後も埼玉県に対しては、医師会会計からの多額の繰り入れを解決するための、養成所運営補助金の増額や埼玉県看護師等育英奨学金の貸し付け条件の緩和を求めているところです。

●【神奈川県立衛生看護専門学校（神奈川県医師会）】

本校は平成 27 年に創立 50 周年を迎えました。
昭和 40 年に神奈川県医師会准看護婦学校として開校して以来、学科の新設や校舎移転、運営形態の変更等を経ながら、現在まで 9,000 名を超える卒業生を輩出しています。当初は医師会立の学校でしたが、現在は県立となり、教務部門を神奈川県医師会が受託するという形態で運営しています。

内容

教育課程

課程	学科	入学定員	総定員	修業年限
	助産師学科	40 人	40 人	1 年
医療専門課程	第一看護学科	120 人	360 人	3 年
	第二看護学科	40 人	80 人	2 年

	<ul style="list-style-type: none"> ※神奈川県立衛生看護専門学校では第二看護学科を設置し、准看護師から看護師への養成を行ってまいりましたが、県内准看護師の減少等を背景に入学者が減少しており、今後も、更なる減少が見込まれております。 このため、第二看護学科は、令和2年4月の入学生を最後に募集停止することになりました。 <p>【課題】</p> <p>志願者数が経時的に減少を認めており、現在定員割れの状態が続いている。</p> <p>大学看護学部志望者が増加している中、看護専門学校の志願者を如何に獲得するか検討を要する。</p> <p>神奈川県の実策として看護師養成数を平成26年度より80名から120名へ増員したが、少子化の影響で18歳人口が90%へ減少する中で看護大学が次々に開学し、大学志望者増加した事が定員割れに拍車をかけている。</p> <p>→① 定数の見直し（減員）；運営上の問題を要検討。</p> <p>② 志願者の獲得（大学看護学部との棲み分け）；看護教員志望か臨床志望かなど。</p>
--	--

●【足利市医師会附属准看護学校（栃木県 足利市医師会）】

内容	<p>生徒数の減少による定員割れ、さらには質の低下による中途退学者が1割以上いる現状です。</p> <p>逆に人件費が増加の一途であり、授業料収入や補助金の減少と併せて毎年赤字を計上しています。</p> <p>また、実習病院の確保に難渋し、実習もままならない状況です。</p> <p>地元看護大学もありますが、地域の医療機関に就職する看護師はほとんどいません。</p> <p>本校も地元定着率が良い准看護師の養成を担ってきましたが、このまま赤字が続けば廃校もやむを得ないという状況です。</p>
----	---

医師会立共同利用施設一覧

新潟県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
(一財)下越総合健康開発センター	957-8577	新発田市本町4-16-83	健診・検査複合体
(一財)下越総合健康開発センター-居宅介護支援センター	957-0061	新発田市住吉町5-4-25	居宅介護支援事業所
(一財)下越総合健康開発センター-訪問看護ステーション	957-8577	新発田市本町4-16-83	訪問看護ステーション
上越医師会上越地域総合健康管理センター	943-8555	上越市春日野1-2-33	健診・検査複合体
上越医師会訪問看護ステーション	943-8555	上越市春日野1-2-33	訪問看護
新発田西デイサービスセンター	957-0062	新発田市富塚町1-423	その他
新発田中井デイサービスセンター	957-0007	新発田市小舟町2-690	その他
村上市岩船郡医師会訪問看護ステーションふる里	958-0862	村上市若葉町10-7	訪問看護ステーション
新潟県医師会在宅医療推進センター	951-8581	新潟市中央区医学町通2-13	在宅医療介護連携
新潟市医師会在宅医療推進センター	950-0914	新潟市中央区紫竹山3-3-11 新潟市総合保健医療センター5F	在宅医療介護連携
長岡市医療・介護連携推進センター	940-2101	長岡市寺島町653	在宅医療介護連携
上越地域在宅医療推進センター	943-8555	上越市春日野1-2-33	在宅医療介護連携
三条市地域包括ケア総合推進センター	955-0833	三条市大野畑6-86-11	在宅医療介護連携
柏崎市刈羽郡医師会在宅医療推進センター	945-0053	柏崎市鏡町10-10 NTTビル2F	在宅医療介護連携
しばた地域医療介護連携センター	957-8577	新発田市本町4-16-83	在宅医療介護連携
五泉市東蒲原郡医師会在宅医療推進センター	959-1863	五泉市東本町2-6-1	在宅医療介護連携
加茂・田上在宅医療推進センター	959-1313	加茂市幸町1-14-17	在宅医療介護連携
見附市南蒲原郡医師会在宅医療推進センター	954-0051	見附市本所1-2-64	在宅医療介護連携
つまり医療介護連携センター	948-0082	十日町市本町2-226-1 市民交流センター「分じろう」4F	在宅医療介護連携
村上地域在宅医療推進センター	958-0862	村上市若葉町10-7	在宅医療介護連携
小千谷市在宅医療・介護連携支援センター	947-8701	小千谷市大字平沢新田111(厚生連小千谷総合病院内)	在宅医療介護連携
魚沼市在宅医療推進センター	946-0001	魚沼市日渡新田34(魚沼市立小出病院内)	在宅医療介護連携
糸魚川地域在宅ケア推進センター	941-8502	糸魚川市大字竹ヶ花457-1(厚生連糸魚川総合病院内)	在宅医療介護連携
燕市医師会在宅医療推進センター	959-0231	燕市吉田日ノ出町1-1 燕市民交流センター2F	在宅医療介護連携
南魚沼地域在宅医療推進センター	949-6680	南魚沼市六日町2643-1(南魚沼市民病院内)	在宅医療介護連携
佐渡市在宅医療推進センター	952-1209	佐渡市千種161(厚生連佐渡総合病院内)	在宅医療介護連携

山梨県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
甲府市医師会救急医療センター	400-0857	甲府市幸町14-6甲府市医療福祉会館内	診療所
甲府市医師会健診・検査センター健康管理部	400-0857	甲府市幸町14-6甲府市医療福祉会館内	健診センター
甲府市医師会健診・検査センター臨床検査部	400-0857	甲府市幸町14-6甲府市医療福祉会館内	検査センター
山梨県富士・東部小児初期救急医療センター	403-0013	富士吉田市緑ヶ丘2-7-21富士北麓総合医療センター内	診療所
富士吉田医師会臨床検査センター	403-0013	富士吉田市緑ヶ丘2-7-21富士北麓総合医療センター内	健診・検査複合体

茨城県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
水戸市医師会介護保険センターみと	310-0913	水戸市見川町2131-6	居宅介護支援事業所
水戸市医師会訪問看護ステーションみと	310-0913	水戸市見川町2131-6	訪問看護ステーション
日立メディカルセンター	317-0073	日立市幸町1-17-1	健診センター
日立市医師会ケアプラン作成事業所ひたち	316-0004	日立市東多賀町5-6-15	居宅介護支援事業所
日立市医師会福祉用具レンタル事業所	316-0004	日立市東多賀町5-6-15	その他
日立市医師会訪問看護ステーションひたち	316-0004	日立市東多賀町5-6-15	訪問看護ステーション
日立市休日緊急診療所	317-0073	日立市幸町1-17-1ピタッパ館2階	診療所
訪問看護ステーションうしく	300-1212	牛久市結束町495-4	訪問看護・居宅介護

茨城県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
訪問看護ステーション龍ヶ崎	301-8611	龍ヶ崎市3710(附属棟2階)	訪問看護・居宅介護
取手市医師会ひまわり居宅介護支援事業所	302-0032	取手市野々井1926-2	居宅介護
取手市医師会訪問看護ステーションひまわり	302-0032	取手市野々井1926-2	訪問看護ステーション
取手北相馬休日夜間緊急診療所	302-0032	取手市野々井1926	診療所
取手北相馬保健医療センター医師会病院	302-0032	取手市野々井1926	病院
取手北相馬保健医療センター医師会病院健診科	302-0032	取手市野々井1926	健診・検査複合体
取手北相馬保健医療センター医師会病院臨床検査科	302-0032	取手市野々井1926	健診・検査複合体
ひたちなか市医師会居宅介護支援事業所	312-0057	ひたちなか市石川町20-32	居宅介護支援事業所
筑波メディカルセンター病院	305-8558	つくば市天久保1-3-1	病院
きぬ医師会通所リハビリテーションセンター	303-0016	常総市新井木町13-3	その他
きぬ医師会病院	303-0016	常総市新井木町13-3	病院
きぬ医師会訪問看護ステーション	303-0016	常総市新井木町13-3	訪問看護ステーション
きぬ医師会訪問看護ステーションいわい出張所	306-0631	坂東市岩井4421-6	訪問看護ステーション
きぬ医師会訪問入浴事業所(休止中)	303-0016	常総市新井木町13-3	その他
居宅介護支援事業所きぬ医師会病院	303-0016	常総市新井木町13-3	居宅介護支援事業所
常総市休日夜間急患センター	303-0016	常総市新井木町13-3	診療所
笠間市医師会訪問看護ステーションふきのとう	309-1625	笠間市来栖266-4	訪問看護ステーション
多賀医師会訪問看護ステーション	318-0033	高萩市本町1-208	訪問看護・居宅介護
多賀医師会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	318-0033	高萩市本町1-208	居宅介護支援事業所
鹿行南部地域夜間初期救急センター(休止中)	314-0112	神栖市知手中央7-2-45(神栖済生会病院内)	診療所
水郷医師会居宅介護支援事業所	311-3832	行方市麻生1570-1	居宅介護支援事業所
水郷医師会訪問看護ステーション	311-3832	行方市麻生1570-1	訪問看護ステーション
真壁医師会訪問看護ステーションしもだて	308-0841	筑西市二木成1491	訪問看護ステーション
真壁医師会立訪問看護ステーションしもつま	304-0064	下妻市大字本城町3-13	訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所しもつま	304-0064	下妻市大字本城町3-13	居宅介護支援事業所
猿島郡在宅医療介護推進センター	306-0433	猿島郡境町2190	その他
茨城県メディカルセンター	310-0852	水戸市笠原町489	健診センター

神奈川県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
旭区医師会居宅支援センター	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	居宅介護支援事業所
旭区在宅医療相談室	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	その他
旭区医師会特定支援事業所	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	その他
旭訪問看護リハビリステーション	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	訪問看護ステーション
磯子区在宅医療連携拠点 相談室かけはし	235-0016	横浜市磯子区磯子1-3-13	その他
栄区在宅医療相談室	247-0014	横浜市栄区公田町635	その他
横浜市磯子区医師会居宅支援センター	235-0016	横浜市磯子区磯子1-3-13	居宅介護支援事業所
横浜市磯子区医師会訪問看護ステーション	235-0016	横浜市磯子区磯子1-3-13	訪問看護ステーション
横浜市栄区医師会栄区居宅支援センター	247-0014	横浜市栄区公田町635	居宅介護支援事業所
横浜市栄区医師会栄区訪問看護ステーション	247-0014	横浜市栄区公田町635	訪問看護ステーション
横浜市港南区医師会居宅介護支援ステーション	233-0004	横浜市港南区港南中央通7-29	居宅介護支援事業所
横浜市港南区医師会訪問看護ステーション	233-0004	横浜市港南区港南中央通7-29	訪問看護ステーション
横浜市瀬谷区医師会ヘルパーステーション	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	ホームヘルパーステーション
横浜市瀬谷区医師会居宅介護支援事業所	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	居宅介護支援事業所

神奈川県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
横浜市瀬谷区医師会訪問看護ステーション	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	訪問看護ステーション
横浜市西区医師会居宅支援ステーション	220-0051	横浜市西区中央1-15-18	居宅介護支援事業所
横浜市西区医師会訪問看護ステーション	220-0051	横浜市西区中央1-15-18	訪問看護ステーション
横浜市西区在宅医療相談室	220-0051	横浜市西区中央1-15-18	その他
横浜市青葉区医師会 栄養・ケアステーション	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜市青葉区医師会居宅介護支援事業所	227-0064	横浜市青葉区田奈町13-1 フォレスト1F	居宅介護支援事業所
横浜市青葉区医師会青葉区在宅医療連携拠点	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜市青葉区医師会訪問介護ステーション	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	ホームヘルプステーション
横浜市青葉区医師会訪問看護ステーション	227-0064	横浜市青葉区田奈町13-1 フォレスト1F	訪問看護ステーション
横浜市青葉区医師会訪問看護ステーション 荏田北サテライト	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	訪問看護ステーション
横浜市青葉区医師会療養通所介護事業所	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜市泉区医師会訪問看護ステーション	245-0012	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	訪問看護ステーション
横浜市泉区医師会居宅介護支援センター	245-0012	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	居宅介護支援事業所
横浜市泉区在宅医療相談室	245-0012	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	その他
横浜市中区医師会居宅支援センター	231-0806	横浜市中区本牧町2-353中区医療センター3階	居宅介護支援事業所
横浜市中区在宅医療相談室	231-0806	横浜市中区本牧町2-353中区医療センター3階	その他
横浜市訪問看護ステーション	231-0806	横浜市中区本牧町2-353中区医療センター3階	訪問看護ステーション
横浜市都筑区医師会24時間在宅ケアステーション	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	訪問看護・ホームヘルプステーション
横浜市都筑区医師会ナースングホーム	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	その他
横浜市都筑区医師会ヘルプステーション	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	ホームヘルプステーション
横浜市都筑区医師会居宅支援センター	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	居宅介護支援事業所
横浜市都筑区医師会福祉用具センター	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	その他
横浜市都筑区医師会訪問看護ステーション	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	訪問看護ステーション
横浜市保土ヶ谷区医師会居宅支援センター	240-0003	横浜市保土ヶ谷区天王町1-21保土ヶ谷区休日急患診療所内	居宅介護支援事業所
横浜市保土ヶ谷区医師会訪問看護ステーション	240-0003	横浜市保土ヶ谷区天王町1-21保土ヶ谷区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
金沢区在宅医療相談室	236-0015	横浜市金沢区金沢町48金沢区三師会館内	その他
金沢区三師会立訪問看護ステーション	236-0021	横浜市金沢区泥亀1-21-5「いきいきセンター金沢」内	訪問看護ステーション
戸塚区医師会訪問看護ステーション	244-0003	横浜市戸塚区戸塚町4141-1	訪問看護ステーション
戸塚区医師会訪問看護ステーション	244-0003	横浜市戸塚区戸塚町4141-1	居宅介護支援事業所
戸塚区在宅医療相談室	244-0003	横浜市戸塚区戸塚町4141-1	その他
港南区在宅医療相談室	233-0004	横浜市港南区港南中央通7-29	その他
港北区医師会ケアマネジメントステーション	222-0011	横浜市港北区菊名7-8-27	居宅介護支援事業所
港北区医師会訪問看護ステーション	222-0011	横浜市港北区菊名7-8-27	訪問看護ステーション
港北区在宅医療相談室	222-0011	横浜市港北区菊名7-8-27	その他
神奈川区医師会メディカルセンター神奈川区医師会居宅介護支援センター	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川3F	居宅介護支援事業所
神奈川区医師会メディカルセンター神奈川区医師会訪問看護ステーション	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川3F	訪問看護ステーション
神奈川区在宅医療連携拠点	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川3F	その他
瀬谷区在宅医療相談室	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	その他
鶴見区医師会介護支援ステーション	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F鶴見区休日急患診療所内	居宅介護支援事業所
鶴見区医師会訪問看護ステーション	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F鶴見区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
鶴見区医師会矢向訪問看護ステーション	230-0001	横浜市鶴見区矢向2-13-5	訪問看護ステーション
鶴見区在宅医療連携拠点 さわやか相談室	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F鶴見区休日急患診療所内	その他

神奈川県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
鶴見区在宅医療連携拠点 さわか相談室 出張所	230-0012	横浜市鶴見区下末吉3-6-1済生会横浜市東部病院内	その他
南区医師会居宅介護支援センター	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1	居宅介護支援事業所
南区医師会訪問看護ステーション	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1南区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
南区在宅医療相談室	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1南区医師会内	その他
横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター事業	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1 南区医師会内	その他
保土ヶ谷区在宅医療相談室	240-0003	横浜市保土ヶ谷区天王町1-21保土ヶ谷区休日急患診療所内	その他
緑区医師会居宅支援センター	226-0019	横浜市緑区中山3-16-2緑区休日急患診療所内	居宅介護支援事業所
緑区医師会訪問看護ステーション	226-0019	横浜市緑区中山3-16-2緑区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
緑区在宅医療相談室	226-0019	横浜市緑区中山3-16-2緑区休日急患診療所内	その他
海老名市さつき町地域包括支援センター	243-0421	海老名市さつき町41	地域包括支援センター
海老名市医師会検査センター	243-0421	海老名市さつき町41	検査センター
海老名市医師会訪問看護ステーション	243-0421	海老名市さつき町41	訪問看護ステーション
えびな在宅医療相談室	243-0421	海老名市さつき町41	その他
鎌倉市医師会鎌倉ヘルパーステーション	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35	ホームヘルパーステーション
鎌倉市医師会鎌倉居宅介護支援事業所	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35	居宅介護支援事業所
鎌倉市医師会鎌倉訪問看護ステーション	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35	訪問看護ステーション
鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35 3F	その他
厚木医師会訪問看護ステーション	243-0011	厚木市厚木町6-1	訪問看護ステーション
厚木医師会在宅医療相談室ルリアン	243-0011	厚木市厚木町6-1	その他
小田原医師会訪問看護ステーション	256-0816	小田原市酒匂2-32-16小田原市保健センター内	訪問看護・居宅介護
神奈川区医師会メディカルセンター神奈川区医師会居宅介護支援センター	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川3F	居宅介護支援事業所
神奈川区医師会メディカルセンター神奈川区医師会訪問看護ステーション	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川3F	訪問看護ステーション
神奈川区在宅医療連携拠点	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川3F	その他
東・北地域高齢者支援センター	257-0031	秦野市曾屋11番地	地域包括支援センター
逗葉地域医療センター	249-0003	逗子市池子字棧敷戸1892-6	健診センター
逗葉地域医療センター訪問看護ステーション	249-0003	逗子市池子字棧敷戸1892-6	訪問看護ステーション
相模原市医師会訪問看護ステーション	252-0236	相模原市中央区富士見6-6-1大賀ビル201	訪問看護ステーション
足柄上医師会訪問看護ステーション	258-0021	足柄上郡開成町吉田島580	訪問看護・居宅介護
秦野伊勢原医師会居宅介護支援事業所	257-0031	秦野市曾屋11	居宅介護支援事業所
大和市医師会居宅介護支援事業所	242-0004	大和市鶴間1-28-5	居宅介護支援事業所
大和市医師会訪問看護ステーション	242-0004	大和市鶴間1-28-5	訪問看護ステーション
大和市在宅医療・介護連携支援センター	242-0004	大和市鶴間1-28-5	その他
藤沢市保健医療財団藤沢市保健医療センター	251-0861	藤沢市大庭5527-1	健診センター
在宅医療支援センター	251-0032	藤沢市片瀬339-1	その他
平塚市医師会訪問看護ステーション	254-0082	平塚市東豊田448-3平塚市保健センター内	訪問看護・居宅介護
横浜市都筑区医師会在宅医療相談室	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	その他
足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領866-1 県立足柄上病院内	その他
神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター	241-0815	横浜市旭区中尾1-5-1 敷地内建物2F	その他
座間市地域医療・介護連携支援室	252-0021	座間市緑ヶ丘1-1-3	その他

群馬県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
(公財)高崎・地域医療センター	370-0829	高崎市高松町5-28	健診・検査複合体
愛老園	372-0006	伊勢崎市太田町686	特養

群馬県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
伊勢崎佐波医師会居宅介護支援事業所	372-0024	伊勢崎市下植木町481	居宅介護支援事業所
伊勢崎佐波医師会病院	372-0024	伊勢崎市下植木町481	病院
伊勢崎佐波医師会病院検査科	372-0024	伊勢崎市下植木町481	検査センター
伊勢崎佐波医師会病院訪問看護ステーション	372-0024	伊勢崎市下植木町481	訪問看護ステーション
伊勢崎佐波医師会附属成人病検診センター	372-0024	伊勢崎市下植木町502	健診・検査複合体
館林市邑楽郡医師会立訪問看護ステーションたてばやし	374-0043	館林市苗木町2497-17	訪問看護ステーション
桐生市医師会立ヘルパーステーションきりゆう	376-0031	桐生市本町6-30	ホームヘルパーステーション
桐生市医師会立居宅介護支援事業所きりゆう	376-0027	桐生市元宿町18-2	居宅介護支援事業所
桐生市医師会立訪問看護ステーションきりゆう	376-0027	桐生市元宿町18-2	訪問看護ステーション
桐生市医師会立臨床検査センター	376-0027	桐生市元宿町18-2	検査センター
群馬県医師会群馬リハビリテーション病院	377-0541	吾妻郡中之条町大字上沢渡2136	病院
前橋市医師会立訪問看護ステーションまえばし	371-0035	前橋市岩神町2-3-5	訪問看護ステーション

埼玉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
浦和医師会メディカルセンター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	健診・検査複合体
浦和医師会健診センター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	健診・検査複合体
浦和医師会居宅介護支援センター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	居宅介護支援事業所
浦和在宅医療支援相談センター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18 浦和医師会館4階	在宅医療介護連携
川口市在宅医療サポートセンター	332-0012	川口市本町4-1-8 川口センタービル4階 川口市医師会内	在宅医療介護連携
さいたま市民医療センター	331-0054	さいたま市西区島根299-1	病院
大宮医師会メディカルセンター	331-8689	さいたま市北区東大成町2-107 大宮医師会館2F	健診・検査複合体
大宮在宅医療支援センター	331-8689	さいたま市北区東大成町2-107 大宮医師会館2階	在宅医療介護連携
川越市医師会訪問看護ステーション	350-0036	川越市小仙波町2-53-1 医師会館内1F	訪問看護ステーション
川越市地域包括支援センター連雀町	350-0066	川越市連雀町31-2	地域包括支援センター
川越市医師会居宅介護支援事業所 こすもす	350-0036	川越市小仙波町2-53-1 医師会館内1F	居宅介護支援事業所
川越市医師会介護老人保健施設いぶき	350-0812	川越市大字下小坂501-1	介護老人保健施設
川越市医師会在宅医療拠点センター	350-0036	川越市小仙波町2-53-1 医師会館内4F	在宅医療介護連携
熊谷在宅医療支援センター	360-0816	熊谷市石原3-208 埼玉慈恵病院内	在宅医療介護連携
行田市在宅医療支援センター	361-0021	行田市富士見町2-17-17 行田中央総合病院内	在宅医療介護連携
所沢市医師会訪問看護ステーション	359-0025	所沢市上安松1224-1 保健センター内	訪問看護ステーション
所沢市医師会松井西地域包括支援センター	359-0025	所沢市上安松1283-4	地域包括支援センター
所沢市医師会居宅介護支援事業所	359-0025	所沢市上安松1283-4	居宅介護支援事業所
所沢市医師会ヘルパーステーション	359-0025	所沢市上安松1283-4	ホームヘルパーステーション
所沢市医療介護連携支援センター	359-0025	所沢市上安松1224-1 保健センター内	在宅医療介護連携
わらびとだ訪問看護ステーション	335-0004	蕨市中央4-9-22 福祉児童センター内2F	訪問看護ステーション
わらびとだ訪問看護ステーション介護支援事業所	335-0004	蕨市中央4-9-22 福祉児童センター2F	居宅介護支援事業所
蕨戸田市在宅医療支援センター	335-0004	蕨市中央4-9-22 わらびとだ訪問看護ステーション内	在宅医療介護連携
桶川北本伊奈地区医師会訪問看護ステーション	364-0014	北本市ニツ家3-183	訪問看護ステーション
桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター	364-0014	北本市ニツ家3-183	在宅医療介護連携
鴻巣訪問看護ステーション	365-0036	鴻巣市天神5-11-11	訪問看護ステーション
鴻巣地区在宅医療連携センター	365-0036	鴻巣市天神5-11-11	在宅医療介護連携
在宅医療連携支援センター	362-8588	上尾市柏座1-10-10 上尾中央総合病院内	在宅医療介護連携

埼玉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
地域包括ケア支援室	351-0104	和光市南1-23-1 和光市総合福祉会館2階	在宅医療介護連携
在宅医療サポートセンター	340-0016	草加市中央1-5-22 草加市保健センター1階	在宅医療介護連携
与野在宅医療センター	338-0003	さいたま市中央区本町東4-4-3 旧中央区保健センター3階	在宅医療介護連携
入間市在宅医療支援センター	358-0013	入間市上藤沢730-1 入間市健康福祉センター3階	在宅医療介護連携
毛呂山越生在宅医療相談室	350-0451	毛呂山町大字毛呂本郷1006 くらしワンストップMOROHAPPINESS館3階	在宅医療介護連携
在宅医療連携拠点 はんのう	357-0021	飯能市双柳371-13 飯能市総合福祉センター2階	在宅医療介護連携
東入間医師会訪問看護ステーション	356-0038	ふじみ野市駒林元町3-1-20	訪問看護ステーション
東入間医師会 地域医療・介護相談室	356-0038	ふじみ野市駒林元町3-1-20 訪問看護ステーション内	在宅医療介護連携
鶴ヶ島市地域包括支援センターいきいき	350-2217	鶴ヶ島市大字三ツ木16-1 鶴ヶ島市役所1階	地域包括支援センター
坂戸鶴ヶ島医師会立訪問看護ステーション さつき	350-0212	坂戸市大字石井2327-5	訪問看護ステーション
坂戸鶴ヶ島医師会立居宅介護支援事業所 さつき	350-0212	坂戸市大字石井2327-5	居宅介護支援事業所
坂戸鶴ヶ島医師会在宅医療相談室	350-0212	坂戸市大字石井2327-5	在宅医療介護連携
狭山市医師会訪問看護ステーション	350-1304	狭山市狭山台1-21 狭山准看護学校1F	訪問看護ステーション
狭山市医師会指定居宅介護支援事業所	350-1304	狭山市狭山台1-21 狭山准看護学校1F	居宅介護支援事業所
狭山市医師会在宅医療支援センター	350-1304	狭山市狭山台3-24	在宅医療介護連携
東松山医師会病院	355-0021	東松山市神明町1-15-10	病院
東松山医師会病院臨床検査センター	355-0021	東松山市神明町1-15-10	検査センター
東松山医師会病院健診センター	355-0021	東松山市神明町1-15-10	健診センター
東松山医師会訪問看護ステーション	355-0021	東松山市神明町1-15-10	訪問看護ステーション
比企医師会在宅医療連携拠点	355-0016	東松山市材木町2-36	在宅医療介護連携
ちちぶ在宅医療・介護連携相談室	368-0025	秩父市桜木町8-9 秩父市立病院地域医療連携室	在宅医療介護連携
本庄市児玉郡医師会立訪問看護ステーション	367-0061	本庄市小島6-8-8	訪問看護ステーション
本庄市児玉郡医師会立健診センター	367-0031	本庄市北堀1422 本庄市保健センター内	健診・検査複合体
本庄市児玉郡医師会在宅医療連携拠点	367-0061	本庄市小島6-8-8 本庄市児玉郡医師会立訪問看護ステーショ	在宅医療介護連携
深谷寄居医師会メディカルセンター	366-0052	深谷市上柴町西3-6-1	健診・検査複合体
深谷寄居医師会老人保健施設FOMA・なごみ	366-0019	深谷市新戒413-1	在宅介護支援センター
深谷寄居医師会老人保健施設FOMA・なごみ	366-0019	深谷市新戒413-1	介護老人保健施設
深谷寄居在宅医療連携室	366-0033	深谷市国済寺319-3	在宅医療介護連携
大里広域地域包括支援センター医師会なごみ	366-0033	深谷市国済寺319-3	地域包括支援センター
北埼玉医師会訪問看護ステーション	347-0043	加須市馬内441	訪問看護ステーション
北埼玉医師会メディカルセンター	347-0043	加須市馬内441	検査センター
北埼玉医師会居宅介護支援事業所	347-0043	加須市馬内441	居宅介護支援事業所
加須市医療診断センター	347-0045	加須市富士見5-38	健診・検査複合体
老人保健施設カノーパス・羽生	348-0051	羽生市大字本川俣1305	介護老人保健施設
北埼玉在宅医療連携室	347-0043	加須市馬内441	在宅医療介護連携
南埼玉郡市在宅医療サポートセンター(久喜)	346-0005	久喜市本町5-3-19 南埼玉郡市医師会事務局内	在宅医療介護連携
南埼玉郡市在宅医療サポートセンター(蓮田、白岡、宮代)	349-0196	蓮田市黒浜4147 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院内	在宅医療介護連携
久喜市医師会訪問看護ステーション よろこび	346-0005	久喜市本町5-3-19	訪問看護ステーション
久喜市医師会居宅介護支援事業所よろこび	346-0005	久喜市本町5-3-19	居宅介護支援事業所
越谷市医師会立訪問看護ステーション	343-0023	越谷市東越谷十丁目31番地	訪問看護ステーション
越谷市医療と介護の連携窓口	343-0023	越谷市東越谷十丁目31番地	在宅医療介護連携

埼玉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
春日部市医師会立訪問看護ステーション藤	344-0023	春日部市大枝89 7街区4棟	訪問看護ステーション
春日部市地域包括ケアシステム推進センター	344-0063	春日部市緑町6-11-41 春日部厚生病院内	在宅医療介護連携
岩槻区医療介護連携支援センター	339-0057	さいたま市岩槻区本町2-7-2 訪問看護ステーションいわつき内	在宅医療介護連携
在宅医療連携拠点 菜のはな	340-0153	幸手市吉野517-5 東埼玉総合病院内	在宅医療介護連携
吉川松伏医師会訪問看護ステーション	342-0056	吉川市平沼1235-1 医師会館内3F	訪問看護ステーション
吉川松伏医師会居宅介護支援事業所	342-0056	吉川市平沼1235-1 医師会館内1F	居宅介護支援事業所
吉川松伏在宅医療サポートセンター	342-0056	吉川市平沼1235-1 医師会館内1階	在宅医療介護連携
三郷市医師会訪問看護ステーション	341-0042	三郷市谷口544	訪問看護ステーション
三郷市医師会居宅介護支援事業所	341-0042	三郷市谷口544	居宅介護支援事業所
三郷市在宅医療・介護連携サポートセンター	341-0042	三郷市谷口544 三郷市保健センター分室	在宅医療介護連携

千葉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
夷隅医師会診療所	298-0004	いすみ市大原7400	健診センター
市川市医師会訪問看護ステーション	272-0826	市川市真間1-9-10	訪問看護ステーション
市川市地域医療支援センター	272-0826	市川市真間1-9-10	その他
千葉市医師会訪問看護ステーション	260-0042	千葉市中央区椿森5-4-3	訪問看護・居宅介護
茂原市長生郡医師会巡回診療所	297-0024	茂原市八千代1-5-4	健診センター
茂原市長生郡医師会訪問看護ステーション	297-0024	茂原市八千代1-5-4	訪問看護ステーション

東京都医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
東京都リハビリテーション病院	131-0034	墨田区堤通2-14-1	病院
板橋区医師会病院	175-0082	板橋区高島平3-12-6	病院
新宿区医師会区民健康センター	160-0022	新宿区新宿7-26-4	健診センター
品川区医師会健診センター	140-0001	品川区北品川3-7-25	健診センター
国分寺市医師会公衆衛生センター	185-0024	国分寺市泉町2-3-8 国分寺市いずみプラザ2F	健診センター
(公財)武蔵野健康づくり事業団付属診療所	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町4-8-10 武蔵野市立保健センター2F	健診センター
荏原医師会臨床検査センター	142-0053	品川区中延1-7-12	検査センター
武蔵野市医師会臨床検査センター	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町4-8-10	検査センター
江戸川区医師会医療検査センター	134-0091	江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀6F	健診・検査複合体
豊島健康診査センター	170-0012	豊島区上池袋2-5-1 豊島区立健康プラザとしま6F	健診・検査複合体
練馬区医師会医療健診センター	177-0033	練馬区高野台2-23-20	健診・検査複合体
中央区立介護老人保健施設リハポート明石	104-0044	中央区明石1-6	介護老人保健施設
中央区医師会訪問看護ステーションあかし	104-0044	中央区明石町1-6	訪問看護ステーション
医師会立中央区訪問看護ステーション	103-0001	中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア1F	訪問看護ステーション
小石川医師会訪問看護ステーション	112-0002	文京区小石川5-6-9	訪問看護ステーション
浅草医師会立訪問看護ステーション	111-0034	台東区雷門1-10-5 浅草医師会館内	訪問看護ステーション
(公社)墨田区医師会立訪問看護ステーション	130-0002	墨田区業平1-7-25	訪問看護ステーション
荒川区医師会訪問看護ステーション	116-0013	荒川区西日暮里6-5-3 荒川区医師会館別館3F	訪問看護ステーション
葛飾区医師会訪問看護ステーション	124-0012	葛飾区立石6-8-14 パークアベニュー1F	訪問看護ステーション
江戸川区医師会訪問看護ステーション	132-0021	江戸川区中央4-24-14 江戸川区医師会館内	訪問看護ステーション
江戸川区医師会訪問看護ステーション一之江分室	134-0015	江戸川区西瑞江5-1-6 江戸川区医師会地域医療支援センター内	訪問看護ステーション
江東区医師会訪問看護ステーション	135-0016	江東区東陽5-31-18 江東区医師会館2F	訪問看護ステーション
(一社)中野区医師会訪問看護ステーション	164-8558	中野区中野2-27-17 中野区医師会館内	訪問看護ステーション

東京都医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
杉並区医師会訪問看護ステーション	167-0051	杉並区荻窪5-20-1 杉並区立保健医療センター4F	訪問看護ステーション
医師会立品川区訪問看護ステーション	140-0001	品川区北品川3-7-25 品川区医師会館2F	訪問看護ステーション
医師会立荏原訪問看護ステーション	142-0053	品川区中延2-6-5 荏原医師会館内	訪問看護ステーション
大森医師会立訪問看護ステーション	143-0024	大田区中央4-31-14 大森医師会館2F	訪問看護ステーション
田園調布医師会立訪問看護ステーション	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	訪問看護ステーション
北区医師会訪問看護ステーション	114-8575	北区王子2-16-11 北区医師会館内	訪問看護ステーション
板橋区医師会訪問看護ステーション	175-0082	板橋区高島平2-32-2-107	訪問看護ステーション
練馬区医師会訪問看護ステーション	176-0012	練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎2F	訪問看護ステーション
調布市医師会訪問看護ステーション	182-0026	調布市小島町3-68-9	訪問看護ステーション
府中市医師会訪問看護ステーション	183-0055	府中市府中町2-25-17 府中市医師会館内	訪問看護ステーション
町田市医師会訪問看護ステーション	194-0023	町田市旭町1-4-5 町田市医師会館内	訪問看護ステーション
西東京市医師会訪問看護ステーション	202-0013	西東京市中町1-1-5 西東京市中町分庁舎	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション サテライト東	192-0355	八王子市堀之内3-33-8 1F	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション	192-0066	八王子市本町13-2	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション サテライト西	193-0816	八王子市大楽寺町496	訪問看護ステーション
日野市医師会訪問看護ステーションたかはた	191-0031	日野市高幡1011 日野市立福祉支援センター2F	訪問看護ステーション
日野市医師会訪問看護ステーション	191-0062	日野市多摩平3-1-12	訪問看護ステーション
国分寺市医師会訪問看護ステーション	185-0024	国分寺市泉町2-3-8 国分寺市いずみプラザ2F	訪問看護ステーション
狛江市医師会訪問看護ステーション	201-0013	狛江市元和泉2-35-1 あいとびあセンター内	訪問看護ステーション
小平市医師会訪問看護ステーション	187-0032	小平市学園西町3-24-13 小平市医師会館内	訪問看護ステーション
武蔵村山市訪問看護ステーション	208-0011	武蔵村山市学園4-5-1 武蔵村山市民総合センター2F	訪問看護ステーション
京橋おとしより相談センター	104-0044	中央区明石町1-6	地域包括支援センター
日本橋おとしより相談センター	103-0001	中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア1F	地域包括支援センター
熟年相談室(地域包括支援センター)江戸川区医師会	132-0021	江戸川区中央4-24-14	地域包括支援センター
熟年相談室(地域包括支援センター)江戸川区医師会一之江	134-0015	江戸川区西瑞江5-1-6 江戸川区医師会地域医療支援センター内	地域包括支援センター
渋谷区ひがし健康プラザ地域包括支援センター	150-0011	渋谷区東3-14-13 渋谷区ひがし健康プラザ1F	地域包括支援センター
渋谷区大向地域包括支援センター	150-0046	渋谷区松濤1-26-6 地域交流センター大向B1	地域包括支援センター
杉並区地域包括支援センターケア24荻窪	167-0051	杉並区荻窪5-20-1 杉並区保健医療センター2F	地域包括支援センター
大田区地域包括支援センター新井宿(大森医師会)	143-0024	大田区中央1-21-6 新井宿特別出張所2F	地域包括支援センター
大田区地域包括支援センター 田園調布医師会	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	地域包括支援センター
大田区地域包括支援センター蒲田東(蒲田医師会)	144-0052	大田区蒲田4-24-12 蒲田医師会館5F	地域包括支援センター
豊島区医師会地域包括支援センター	171-0021	豊島区西池袋3-22-16	地域包括支援センター
板橋区高島平地域包括支援センター	175-0082	板橋区高島平2-32-2-107	地域包括支援センター
ヘルパーステーション葛飾区医師会	124-0012	葛飾区立石6-8-14 パークアベニュー201	ホームヘルパーステーション
中央区医師会訪問看護ステーションあかし	104-0044	中央区明石町1-6	居宅介護支援事業所
医師会立中央区訪問看護ステーション	103-0001	中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア1F	居宅介護支援事業所
小石川医師会居宅介護支援事業所	112-0002	文京区小石川5-6-9	居宅介護支援事業所
荒川区医師会ケアプランセンター	116-0013	荒川区西日暮里6-5-3 荒川区医師会館別館2F	居宅介護支援事業所
葛飾区医師会指定居宅介護支援事業所	124-0012	葛飾区立石6-8-14 パークアベニュー1F	居宅介護支援事業所
江戸川区医師会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	132-0021	江戸川区中央4-24-14 江戸川区医師会館内	居宅介護支援事業所
渋谷区ひがし健康プラザ居宅介護支援事業所	150-0011	渋谷区東3-14-13 渋谷区ひがし健康プラザ1F	居宅介護支援事業所
中野区医師会ケアプランセンター	164-8558	中野区中野2-27-17 中野区医師会館内	居宅介護支援事業所
杉並区医師会プランニング・サービス	167-0051	杉並区荻窪5-20-1 杉並区立保健医療センター4F	居宅介護支援事業所
大森医師会立訪問看護ステーション	143-0024	大田区中央4-31-14 大森医師会館2F	居宅介護支援事業所

東京都医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
大田区地域包括支援センター新井宿(大森医師会)	143-0024	大田区中央1-21-6 新井宿特別出張所2F	居宅介護支援事業所
大田区地域包括支援センター田園調布医師会	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	居宅介護支援事業所
田園調布医師会立訪問看護ステーション	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	居宅介護支援事業所
北区医師会訪問看護ステーション	114-8575	北区王子2-16-11 北区医師会館内	居宅介護支援事業所
板橋区医師会在宅ケアセンター	175-0082	板橋区高島平2-32-2-107	居宅介護支援事業所
練馬区医師会居宅介護支援事業所	176-0012	練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎2F	居宅介護支援事業所
調布市医師会指定居宅介護支援事業所	182-0026	調布市小島町3-68-9 調布市医師会館内	居宅介護支援事業所
町田市医師会訪問看護ステーション	194-0023	町田市旭町1-4-5 町田市医師会館内	居宅介護支援事業所
西東京市医師会ケアプランセンター	202-0013	西東京市中町1-1-5 西東京市中町分庁舎	居宅介護支援事業所
八王子市医師会立ケアプランセンター	192-0066	八王子市本町13-2	居宅介護支援事業所
国分寺市医師会訪問看護ステーション	185-0024	国分寺市泉町2-3-8 国分寺市いずみプラザ2F	居宅介護支援事業所
狛江市医師会訪問看護ステーション	201-0013	狛江市元和泉2-35-1 あいとぴあセンター内	居宅介護支援事業所
小平市医師会ケアマネージメントセンター	187-0032	小平市学園西町3-24-13 小平市医師会館内	居宅介護支援事業所
武蔵村山市訪問看護ステーション	208-0011	武蔵村山市学園4-5-1 武蔵村山市市民総合センター2F	居宅介護支援事業所
渋谷区在宅医療相談窓口	150-0031	渋谷区桜丘町23-21渋谷区文化総合センター大和田1F 国民健康センター桜丘診療所内	在宅医療介護連携
豊島区在宅医療相談窓口	171-0021	豊島区西池袋3-22-16	在宅医療介護連携
病児保育センターぱるむ光が丘	179-0072	練馬区光が丘5-6-1-101	その他
病児保育センターぱるむ大泉	178-0063	練馬区東大泉1-20-32	その他
医療連携・在宅医療サポートセンター	177-8508	練馬区高野台2-23-20	その他
大森医師会病児保育室PiccoloBosco	143-0024	大田区中央4-31-14大森医師会館内	その他
荒川区医師会こどもクリニック	116-0013	荒川区西日暮里6-5-3	その他
文京区医師会附属診療所	113-0022	文京区千駄木2-26-8	その他

栃木県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
佐野市医師会附属佐野医師会病院	327-0832	佐野市植上町1677	病院
佐野市医師会附属佐野医師会病院検査室	327-0832	佐野市植上町1677	検査センター
佐野市医師会訪問看護ステーション	327-0832	佐野市植上町1677	訪問看護ステーション
佐野市地域包括支援センター佐野市医師会	327-0832	佐野市植上町1677	地域包括支援センター
足利市医師会検査センター	326-0808	足利市本城3丁目2022-1	検査センター
栃木県医師会塩原温泉病院	329-2921	那須塩原市塩原1333	病院

長野県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
松本市医師会検査健診センター	390-0875	松本市城西2-5-5	健診・検査複合体
松本市医師会検査健診センター南分室	399-0037	松本市村井町西2-1-27	健診センター
松本市城山介護老人保健施設	390-0861	松本市大字蟻ヶ崎2132	介護老人保健施設
上田市医師会臨床検査センター	386-0012	上田市中央2-22-10	検査センター
諏訪市地域医療・介護連携推進センター	392-0027	諏訪市湖岸通り5丁目12番5号	在宅医療介護連携

医師会立看護師等養成所一覧

新潟県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
三条市医師会准看護学院	955-0862	三条市南新保6-43	准看
新発田北蒲原准看護学院	957-8577	新発田市本町4-16-83	准看

山梨県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
甲府看護専門学校	400-0026	甲府市塩部3-1-4	看3年
甲府看護専門学校	400-0026	甲府市塩部3-1-4	看2年
甲府看護専門学校	400-0026	甲府市塩部3-1-4	准看

茨城県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
茨城県きぬ看護専門学校	303-0003	常総市水海道橋本町3173-15	看3年
日立メディカルセンター看護専門学校	317-0066	日立市高鈴町1-4-10	看3年
水戸市医師会看護専門学校	311-4153	水戸市河和田町107-2	看2年
日立メディカルセンター看護専門学校	317-0066	日立市高鈴町1-4-10	看2年
水戸市医師会看護専門学校	311-4153	水戸市河和田町107-2	准看
土浦市医師会附属准看護学院	300-0052	土浦市東真鍋町2-39	准看
鹿島医師会附属准看護学院	314-0031	鹿嶋市宮中1998-2	准看
真壁医師会准看護学院	308-0841	筑西市二本成827-1	准看

神奈川県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
神奈川県立衛生看護専門学校	231-0836	横浜市中区根岸町2-85-2	助産師
横浜市医師会聖灯看護専門学校	230-0047	横浜市鶴見区下野谷町3-88-16	看3年
おだわら看護専門学校	250-0055	小田原市久野115-2	看3年
湘南看護専門学校	251-0861	藤沢市大庭5062-3	看3年
神奈川県立衛生看護専門学校	231-0836	横浜市中区根岸町2-85-2	看3年
横須賀市立看護専門学校	238-0017	横須賀市上町2-36	看3年
相模原看護専門学校	252-0325	相模原市南区新磯野4-1-1	看3年
神奈川県立衛生看護専門学校	231-0836	横浜市中区根岸町2-85-2	看2年

群馬県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
高崎市医師会看護専門学校助産学科	370-0006	高崎市問屋町4-8-11	助産師
伊勢崎佐波医師会立伊勢崎敬愛看護学院	372-0024	伊勢崎市下植木町461-1	看3年
渋川看護専門学校	377-0027	渋川市金井356	看3年
前橋市医師会立前橋高等看護学院	371-0035	前橋市岩神町2-3-5	看2年
高崎市医師会看護専門学校看護学科	370-0006	高崎市問屋町4-8-11	看2年
桐生市医師会立桐生高等看護学院	376-0027	桐生市元宿町18-2	看2年
富岡看護専門学校	370-2343	富岡市七日市553-1	看2年
前橋市医師会立前橋准看護学校	371-0035	前橋市岩神町2-3-5	准看
高崎市医師会看護専門学校准看護学科	370-0006	高崎市問屋町4-8-11	准看
桐生市医師会立桐生准看護学校	376-0027	桐生市元宿町18-2	准看
藤岡准看護学校	375-0024	藤岡市藤岡1860-1	准看
富岡市甘楽郡医師会立富岡准看護学校	370-2343	富岡市七日市553-1	准看
安中市医師会立安中准看護学校	379-0116	安中市安中1-1-20	准看
吾妻郡医師会立吾妻准看護学校	377-0423	吾妻郡中之条町伊勢町25-9	准看
沼田准看護学校	378-0051	沼田市上原町1801-68	准看

埼玉県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
熊谷市医師会看護専門学校	360-0812	熊谷市大原1-5-28	看2年
蕨田市医師会看護専門学校	335-0021	戸田市大字新曾1295-3	看3年
上尾市医師会上尾看護専門学校	362-0021	上尾市原市3494-4	看3年
坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校	350-0212	坂戸市大字石井2326-16	看3年
秩父看護専門学校	368-0032	秩父市熊木町3-9	看3年
本庄児玉看護専門学校	369-0307	児玉郡上里町嘉美立野南1600-51	看3年
南埼玉郡市医師会久喜看護専門学校	346-0005	久喜市本町5-10-12	看3年
大宮医師会看護専門学校	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-140	看2年
川越市医師会川越看護専門学校	350-0036	川越市小仙波町2-53-1	看2年
所沢市医師会立所沢看護専門学校	359-0025	所沢市上安松1224-7	看2年
朝霞地区医師会立朝霞地区看護専門学校	351-0102	和光市諏訪2-4	看2年
飯能看護専門学校	357-0016	飯能市大字下加治359	看2年
大宮医師会立大宮准看護学校	331-8689	さいたま市北区東大成町2-107	准看
川越市医師会川越看護専門学校	350-0036	川越市小仙波町2-53-1	准看
熊谷市医師会看護専門学校	360-0812	熊谷市大原1-5-28	准看
所沢市医師会立所沢准看護学院	359-0025	所沢市上安松1224-7	准看
桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校	364-0014	北本市二ツ家3-183	准看
鴻巣准看護学校	365-0032	鴻巣市中央2-2	准看
比企医師会立比企准看護学校	355-0016	東松山市材木町2-36	准看
朝霞准看護学校	351-0011	朝霞市本町1-7-3	准看
草加八潮医師会准看護学校	340-0022	草加市瀬崎5-34-5	准看
入間地区医師会立入間准看護学校	358-0014	入間市宮寺528-2	准看
飯能看護専門学校	357-0016	飯能市大字下加治359	准看
狭山市医師会立狭山准看護学校	350-1304	狭山市狭山台1-21	准看
本庄准看護学校	367-0061	本庄市小島6-8-8	准看
北埼玉医師会准看護学校	348-0058	羽生市中央1-2-3	准看

千葉県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
市原看護専門学校	290-0062	市原市八幡1050	看2年
君津木更津医師会立木更津看護学院	292-0832	木更津市新田3-4-30	准看
夷隅医師会立夷隅准看護学校	298-0004	いすみ市大原8846	准看
香取郡市医師会附属佐原准看護学校	287-0001	香取市佐原口2097-72	准看
市原看護専門学校	290-0062	市原市八幡1050	准看

東京都医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
江戸川看護専門学校	134-0015	江戸川区西瑞江5-1-6 江戸川区医師会地域医療支援センター2~4階	看3年
葛飾区医師会附属看護専門学校	124-0011	葛飾区四つ木1-6-5	看2年
下谷医師会立看護高等専修学校	110-0015	台東区東上野3-38-1	准看
葛飾区医師会附属看護専門学校	124-0011	葛飾区四つ木1-6-5	准看
蒲田医師会立看護高等専修学校	144-0052	大田区蒲田4-24-12	准看
渋谷区医師会附属看護高等専修学校	150-0031	渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田9F	准看
世田谷区医師会立看護高等専修学校	154-0024	世田谷区三軒茶屋2-53-16	准看
板橋区医師会立看護高等専修学校	175-0082	板橋区高島平3-12-6	准看

栃木県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
佐野市医師会附属佐野准看護学校	327-0832	佐野市植上町1678	准看
上都賀郡市医師会附属准看護学校	322-0005	鹿沼市御成橋町2-2046-2	准看
足利市医師会付属准看護学校	326-0808	足利市本城3-2022-1	准看
宇都宮市医療保健事業団附属 宇都宮准看護高等専修学校	321-0974	宇都宮市竹林町968	准看

長野県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
長野看護専門学校	380-0928	長野市若里7-1-5	看3年
松本看護専門学校	390-0875	松本市城西2-5-5	看3年
小諸看護専門学校	384-0025	小諸市相生町3-3-1	看3年
長野看護専門学校	380-0928	長野市若里7-1-5	看2年
上田看護専門学校	386-0012	上田市中央2-22-10	看2年
長野看護専門学校	380-0928	長野市若里7-1-5	准看
岡谷市医師会附属准看護学院	394-0027	岡谷市中央町2-5-22	准看
上伊那医師会附属准看護学院	396-0014	伊那市狐島4176	准看
上田看護専門学校	386-0012	上田市中央2-22-10	准看
諏訪市医師会附属准看護学院	392-0027	諏訪市湖岸通り5-12-5	准看